NUEVA

ヌエバでチャンピオンを目指せ!!



国際ハンドボール連盟公認球

日本リーグ唯一の公式試合球

全日本大学選手権（インカレ）
唯一の公式試合球



日本ハンドボール協会検定球



本大会試合球

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H300WRB　ヌエバ

●手縫い●天然皮革●3号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H200WRB　ヌエバ

●手縫い●天然皮革●2号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

入るを量りて、出ずるを為す



㈶日本ハンドボール協会常務理事・財務担当　松原光三

今期、日本協会最大のビッグイベントであった、アテネオリンピックハンドボール競技アジア地区予選兵庫・神戸大会を、無事滞りなく終えた平成15年度も、期末を迎えました。

振り返って、この大会の開催にあたり各方面や、関係各位の方々の多大なる支援（人的支援・物的支援・金銭的支援）を頂きました。

改めて、各協賛会社の皆様、また、大会の委員としてご協力いただいたボランティアの皆様、そして各試合毎に熱き大声援を頂いたサポーターの皆様、さらに地元兵庫・神戸はもとより、全国各地から支援して頂いたハンドボール関係者・愛好者の皆様に厚くお礼申し上げます。

特に、平成12年度からスタートしたアテネオリンピック強化特別プロジェクトの３年間に亘る諸活動（海外拠点の設置・留学生の派遣・国内外での国際試合の増加・海外遠征を含む長期強化合宿等）の財源につきましては、日本リーグ加盟チームの特別支援、及び協賛各社の暖かい後援活動にて予算化する事ができ、一般会計の予算とほぼ同額程度の、近年まれに見る大型の財政投資を実施し、強化事業を行う事ができました。

その結果として、日本ハンドボール界の悲願であったオリンピック出場という大金星を逸したとはいえ、この強化事業が、長年勝利に見放されていた宿敵韓国に、男女ともに引き分けるという大きな成果を果たしたのではないかと確信しております。

北京オリンピックに向け、『強い日本復活』のため、今後とも、この強化事業の内容をよく検証し、より実りのある・より効率の高い事業を選択し、ＮＴＳと連携を密にして、諸政策を実践していかなければならないと思います。

そのためにも、この強化・普及の諸事業の円滑な推進には、健全で安定的な財源の確保が必要であり、その基盤の確立のもとで運営していかなければならないと思います。

しかしながら今、スポーツ界を取り巻く環境は、経済的にも社会的にもきびしい状況にあります。

もちろん、ハンドボール界についても同様で、平成16年の予算編成にあたって、企業チームの活動停止や、協賛企業の撤退などにより、協賛金は従来のように期待できない状況にあり、緊縮財政を組まなければならない状態にあります。

当然、支出についてもこれまでの事業内容をよく精査し、投資効果、費用対効果を十分見極め、経費削減を図っていかなければなりませんが、収入面についても、マーケティング委員会を中心に検定事業等を再検討し、更には、協会運営の原点とも言える健全な財政運営のため、登録金の改革を進めていかなければならないと思います。

将来に亘り安定した財源の確保のため、全国のハンドボール愛好者の皆様の、ご理解とご協力をお願い致します。

第55回 全日本総合ハンドボール選手権大会

第55回全日本総合ハンドボール選手権大会を終えて



広島県ハンドボール協会理事長　山本　一

平成12年に続き広島では２回目の開催となる全日本総合ハンドボール選手権大会でした。今回は広島市の東区スポーツセンター、中区スポーツセンターの２会場で行い、男子16チーム、女子12チームが参加しました。

試合結果は別記（機関誌平成16年１／２合併号スコアールームに掲載）の通りですが、広島での開催で男女とも広島勢が優勝し、広島県協会にとって念願のアベック優勝が成し遂げられたことは、大会の成功に華を添えてくれました。

大会の組み合わせは男女とも日本リーグの上位４チームがシードとなり、学生、実業団、クラブチームの力の拮抗するチーム同士がまず対戦し、その後上位チームに挑戦するという組み合わせで行われました。

大会は12月17日㈬の午前中に、東区スポーツセンターにおいて審判会議、代表者会議（兼開会式）を行い、午後からゲームを始めました。例年通りだと、競技開始の前日、これらの会議は行なわれていましたが、審判員、運営役員には学校関係者が多く、大会日程が学校の２学期最終週と重なるため、できるだけ学校行事に参加出来るよう配慮した結果でした。

魅力あるハンドボール競技の提供のために

9月のアテネオリンピックアジア予選で、悲願のオリンピック出場は惜しくも男女とも叶いませんでしたが、参加チームの選手達は「新たなる挑戦」の気概を持って、真の日本一を目指して健闘してくれました。

第52回大会の総括にも書きましたが、格闘技的要素のあるハンドボールとはいえ、警告はまだしも退場、失格の多い荒れたゲームでは、ハンドボールファンの増加にはつながりません。第52回大会の男子決勝戦は、両チームあわせて警告５、退場18、失格２という大荒れのゲームでした。今大会では全試合26ゲームを通じて失格は２回だけでした。反則の少ないスピーディなゲーム運びは観客を魅了してくれます。指導者、選手の方はこれからも、フェアプレー精神に則るプレーを続行して下さるよう切望します。

テレビ放送の大切さ、スポーツコート、得点掲示について

大会は土曜日に女子が、日曜日に男子が決勝戦を行いました。日曜日の男子決勝戦は例年の通りNHK-TVで全国中継がありましたが、今年は土曜日の女子決勝戦もNHK広島放送局のご好意により、広島県内だけとはいえ生中継で放送していただきました。

広島では1990年より毎年１回はNHK-TVで日本リーグ広島大会を中継していただいています。会場に来られなかった方でも、「テレビは見たよ」と言われる方は結構多くおられます。テレビ放映の機会を増やしていくことは大切なことだと思います。

また、今回は東区スポーツセンターだけでしたが、ゴム系のタラフレックスでなく、前回の名古屋大会と同様にプラスチック系のスポーツコートを敷きました。高度のプレーをするには、松ヤニを使わなければという現状では使用をやむを得ないと思いますが、大会（試合）終了後の床についた松ヤニ落としは大変な作業で、多くの人員と時間がかかります。その点、タラフレックスや今回使用したスポーツコートを使用すればそのような労力は省けますが、会場一面に敷き詰めたり、撤去する作業に時間がかかるのが難点でしょうか。

その他では、今回㈱モルテンが場内サービスの為プラズマ大型表示機を設置し、大会を盛上げてくれました。この表示機は61インチの画面にオフィシャル席のパソコンの操作により、カラー画面で得点、タイマー等が表示されるものです。コートサイドに２台設置しました。

観客動員とプレスサービス

この様に大会を重ねるごとに新しいものを導入し大会運営を行っていますが、頭を痛めているのは何と言っても観客動

員のことです。

選手達は一生懸命ゲームをしてくれていますが、それに報いるために、やはり大勢の観客の見守る中でゲームをさせてやりたいと強く思っています。今回も市内の体育施設、学校、またアストラムラインの電車の中にポスター掲示をしました。新聞やテレビでは、大会展望に始まり毎日の試合結果等、多くの記事を掲載していただきましたが、なかなか思うようには成果があがりませんでした。観客動員が今後の課題ですが、地道な努力を続けていきたいと思っています。

ハンドボール広報の一環として男子決勝戦の前に、前日に優勝した広島メイプルレッズと広島運動記者クラブハンドボール分科会を中心とした報道陣チームが10分ハーフのハンドボールの試合を行いました。ハンドボールをするのは初めてという記者の人達もずいぶん楽しんでいたようです。

最後になりましたが、大会を開催するにあたり、後援をいただいた関係団体、広告協賛をいただいた各社、テレビ中継をしていただいたNHK、そして特別後援をいただいた讀賣新聞社や連日大きな紙面で飾っていただいた中国新聞社をはじめとする報道関係各社に対し、この場を借りてお礼を申し上げます。

男子優勝チーム監督の声

全日本総合選手権を振り返って

湧永製薬ハンドボール部監督　酒巻清治



昨年末広島で開催された全日本総合選手権におきまして13年振り12回目の優勝をおさめることが出来ました。地元広島ということもあり、絶大なるご声援頂いたファンの皆様に心より御礼申し上げます。湧永ファンの期待を裏切りつづけて13年、少しばかりのご恩返しが出来たのではと充実感に浸っております。

とは言うものの、今シーズンのスタートは決して今回の結果を予想させるものではありませんでした。10月の日本リーグスタートと同時に主力メンバーが故障で戦線離脱し、薄くなった選手層をダブルポジション（時にはトリプルポジション）で起用した結果、従来フレッシュであった選手にも負担がかかるという悪循環に陥りました。「アップテンポなハンドボール」をチーム戦術として展開したくても「数的不利」という現実に直面したときには、シーズンの戦い方を修正しなければなりませんでした。

しかしながら何が起こるかわからないのがこの世界、総合までの2ヶ月間ベテランから若手までハードな対戦チームと懸命のリハビリに必死に耐え抜いた結果、チーム内の結束力も高まり「全日本総合」には選手全員が戦闘態勢を完全に整えていました。勝因の一つは、この2ヶ月間マイナスをプラスに受け止めた選手達の頑張りがあったからだと感じております。



最後に、
対戦チームの皆さん、どうやって倒すか必死でした。
地元広島、知った顔がコートサイドに、心強かったです。

この誌面をお借りし御礼申し上げます。有難うございました。

女子優勝チーム監督の声

全日本総合ハンドボール選手権大会 V6を成し遂げて

広島メイプルレッズ監督　林　五卿



今回の全日本総合の優勝は素直に嬉しかった。それは、次にあげる２つのことを克服して選手達が頑張ってくれたからです。

１つは、今大会が地元広島で行われたので何としても勝たねばというプレッシャーの中でゲームを行ったこと。

もう１つは私とチームのエース呉 成玉が韓国ナショナルチームの一員として、クロアチアの世界選手権に出場し、大会初日の12月17日に広島に入ったものの、２人共時差による体調不良でゲームに臨まなくてはならなかったことです。私もクロアチアにいてもメイプルレッズのことが心配で、毎日メイプルレッズの選手達に電話をしました。練習方法のこととか、体調のことなどです。体調面では苦しかったけれども精神的には選手達と私とのバランスが良かったといえます。今大会でMVPを獲った杉本の活躍にはある程度期待していましたが、全員が活躍できた大会だったといえます。

それは、10月の静岡国体での優勝も自信になっていると思いますが、メイプルレッズの強さの最大の秘訣は勝とうとする精神力です。精神力は優勝するためにだけ必要なものではありません。どんなスポーツをやるにも必要なものです。勝つためには技術よりも精神力です。

それと団体スポーツですから、当然のことながらチームワークです。メイプルレッズの選手達は皆家族だと思っています。悩みをかかえている選手がいたら皆で苦しまなくてはなりません。家族とはそういうものだし、チームメートとはそういうものだと思います。皆で一緒に喜び合い、苦しみ合ってチームワークが生まれるものだと思います。

これからも苦しいことがたくさん待ち受けていると思いますが、メイプルレッズはチームメートが同じ気持ちでいつもいられる限り、たとえ優勝出来なくても素晴らしいチームでありつづけると思います。

また今回、本当に嬉しかったのは男子の湧永製薬と一緒に優勝出来たことです。これまで、あと一歩のところでアベック優勝が出来ませんでした。メイプルレッズのメンバーも声をからして声援したかいがありました。合同で行う優勝祝賀会が楽しみです。

最後に、メイプルレッズはクラブチームです。多くの皆さんの支援を得て活動しています。これまで応援していただいた皆さんに感謝してお礼とさせていただきます。

これからも頑張りますのでよろしくお願いします。



平成15年度
第12回ジュニアオリンピックカップハンドボール大会

第12回 JOC ジュニアオリンピックカップ ハンドボール大会を終えて



大阪中学校体育連盟ハンドボール部専門委員長　**逢阪静男**（大阪体育大学附属中学校）

第12回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会が大阪堺市の金岡公園体育館と、家原大池体育館で開催され、比較的暖かい気候に恵まれ、好試合が展開されました。

今大会から男女各4チームずつ増え、合計32チームとなり、日程も1日増え12月25日～28日までの4日間で開催されました。

試合の結果は男子ベスト4に沖縄選抜、愛知選抜、群馬選抜と地元大阪選抜が、女子では沖縄選抜、熊本選抜、東京選抜と地元堺選抜が、予選リーグを勝ち進み決勝トーナメントへ駒を進めました。また、決勝戦では沖縄選抜が2年連続優勝、女子は熊本選抜が初優勝を飾った。男子決勝戦では沖縄選抜対愛知選抜で、最後の一秒まで試合の行方がわからない好ゲームで観客を沸かせる試合であった。

大会の準備

平成14年度第11回大会の主管協会合同会議において12回大会より男子4チーム（九州、近畿、東北、中国）、女子4チーム（九州、近畿、四国、北信越）の各ブロックが増え、総計32チームでの開催が決まり、大会期間も4日間ということで、各体育館の日程調整から始まり、旅行社とのホテルの調整、さらに役員、補助員の増員で各学校に協力の要請、しかし、地元の堺市が男女それぞれ開催地代表で出場するので、他地区の学校に要請しなければならなく時間がかかった。又、チーム数増加により大会日程も一日延び、財源確保で関係各機関に協力要請、訪問等今までにない試みであった。

また、大阪協会の会議においても11回大会の反省から12回大会の問題等に熱い議論が交わされ、高体連、堺協会にも協力を要請して、役員派遣を依頼し、何とか準備が整った。

大会の運営

本大会に参加の選手諸君は各中学校において終業式を終え、直ちに大阪に向けて出発。何とか旅の疲れを癒していただき、出来るだけいい条件のもとで試合を出来るように、また、思い出に残る場所になるようにと計画を立ててきました。しかし、昨年度第11回大会の予選リーグ終了後、家原体育館でタラフレックスを敷くのに午前2時までかかり体育館に迷惑をかけた苦い経験があります。今回も計画をしていたのですが、それよりもっと開閉会式で印象に残ることが出来ないかと考え、行進の際に敬意をあらわしていただいて締まりのある厳粛な式典にし、また、開会式の後には緊張感を取り除けるようにしました。そのために、全日本ナショナルチームに参加していただき、U-19監督の玉村健次さんの指導のもと、現在日本のハンドボール界で一番人気のある宮崎大輔選手をはじめ佐々木選手、池辺選手、羽賀選手、広政選手、茅場選手に混じって、男子の各チームより1名ずつ参加して公開練習をおこないました。終了後にはサインボールを選手、観客席に投げ込んでリラックスしたムードに、という趣向で開会式を行いました。

また、今大会にはもう一つ大きな前進材料が見られました。それは、大阪の先生方に協力を呼びかけたところ、110名の補助役員と35名の先生があつまりました。各部署に分かれ事務局から競技、会場係につとめてくださりと、動きはスムーズであったかはわからないが、この大会に対する意識は高まったと思います。

ボランティアの活動

各学校で終業式終了後、役員の先生が集合し、袋詰め、IDカード作りから最終点検、役割分担を行い、堺市男・女チーム、大阪選抜で会場作りと、後片付け。各中学校の生徒で、オフィシャル、床拭き等、父兄も参加し、湯茶の接待。全国中体連ブロック長、日本協会、大阪協会、堺協会、全日本男子チーム、高体連、中体連、中学生、父兄、総勢230名体制での協力が得られました。

参加選手と地元の交流

大会前に堺市長を表敬訪問し、堺市議会議長、堺市役所公園課等に大会式典にも参加して頂くなどの歓迎ぶりであった。

また、選手宣誓では地元堺市立南八下中学校主将・井上雄斗君の力強い決意の声も聞かれ、各チームの選手達も明日からの熱い戦いに対する緊張感と闘志が見え隠れしている様子であった。

大会運営の問題と今後の課題

JOC大会の本来の目標とするところは将来オリンピックで活躍する選手の発掘と底辺の拡大にあると思われ、今大会で男女各4チームずつ増え一歩前進したと言えます。しかし、大会の前日には終業式があり、大会の後には官庁の御用納めがあり、選手も高校受験を控え大変厳しい状況です。

一方、今回初めて出場されたチームでは出場枠拡大は大変あり難いという声も聞かれ、1県1チームの出場枠は確かに選手の発掘と底辺の拡大につながるのは間違いありません。しかし、実際に行うとなれば、会場の確保、人材の確保、予算の確保、日程的な問題等あるのでしばらく様子を見ながら模索していかなければならないと思います。

その他

このJOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会も12回を終え、オリンピック有望選手には男子沖縄県選抜の砂川慶成君、女子山口県選抜の山上麻美さん、愛知県選抜の林志帆さんが、最優秀選手には男子沖縄県選抜の玉城聖也君、女子熊本県選抜の田中千恵さんが、また、優秀選手には男子7名、女子7名が選出されました。

最近の傾向としては各ブロックから本当に優秀な選手が選出され、大会に参加して頂いているので各試合で接戦の好ゲームが展開されている。この選手たちがU-16、19、23、



ナショナルチームにつながり、近い将来、オリンピックのアジア予選を突破してくれる日も近いと思われます。

日頃、日本の各チームで色々な仕事、家庭を横に置いて、日夜努力し、子供達の技術指導はもとより、生活面、精神面まで鍛えて頂いている指導者の方々に対し、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後にこの第12回JOCジュニアオリンピックハンドボール大会で、ご協力頂いた関係各機関の皆様に厚く御礼を申し上げますと共に、第13回大をさらに充実した大会に出来るよう関係者一同努力して参るつもりです。

有難うございました。

男子優勝チームの声

「感謝」

沖縄県中学校選抜監督　小波津周史（港川中学校教諭）



初めに、監督として『日本一』を経験させてくれた選手、スタッフの皆さんに本当に感謝します。

『日本一』への勝因は、やはり全国中学校大会を制した神森中、準優勝の仲西中の選手の全国大会での経験と技術が活かされことと、この2つのチームを中心とした沖縄選抜チームのチームワークだったと思います。この素晴らしい選手を育ててくださった小学校の指導者や、神森中・上江洲先生、東江功子先生、東江正作コーチ、仲西中・名護先生、照屋先





生、南里中・當間先生、嘉数中・平良先生，流大附中・浦西中の先生方やコーチには、感謝の思いでいっぱいです。

印象に残ったゲームは、やはり決勝での愛知選抜戦です。1点を争うゲーム展開だっただけに、緊迫した場面が多く本当に若しかったです（ほとんどのゲームもそうだったのですが特に愛知戦は…!!）。上原健二君が決勝点を決め、ゲーム終了のホイッスルを聞いたときは「ほっ」としました。

オリンピック有望選手に選ばれた砂川慶成君、今大会のM

ＶＰに選ばれたGK玉城聖也君、優秀選手の前里亮太君をはじめ沖縄選抜16名の選手のみなさん、全国大会優勝おめでとう！　これからも、新たな目標に挑戦し、この中から１人でも多くの選手がナショナルチームのメンバーとして世界へ大きく羽ばたき成長していくことを願います。

本大会を通して、良い面・悪い面多くのことを経験し、監督として自分の力量が未熟であることを実感しました。私がこのような価値ある経験をできたのも、沖縄ハンドボール協会関係者をはじめ、高校・中学校・小学校の指導者、父母会の支え、励まし、協力してくださったおかげだと感謝しております。今後もこの経験と「感謝の心」を忘れずに日々努力していきたいと思います。

女子優勝チームの声

「一生忘れられないチーム」

熊本県本渡市立本渡中学校　**松本政之**



決勝のタイムアップの瞬間は、「やったー」という感じはありましたが、選手、もベンチも結構淡々としていました。その後、多くの方々から祝福の言葉をいただくごとに、次第に実感がわき感激が増してきました。また、熊本県としての100回目の全国大会優勝を飾ることが出来、喜びもひとしおです。選手には、一足早い最高のお年玉をいただきました。

チームとして一番力を入れたのは、ゴールキーパーを中心とした守りでした。最もゴールキーパーは、コーチの荒木さん（元オムロン、全日本キーパー）と西浦先生（都呂々中）が、熱心に指導してくださったおかげでグングン力を伸ばしてくれました。また、国府高校や松橋高校を始め、高校生との練習試合のおかげでディフェンス力全般の向上、スピードの強化等、図ることができたと思います。本当に高校の先生方、選手の皆様に感謝申し上げます。そして何より入部から２年半、基礎からしっかり選手を育てて下さった各中学校の顧問の先生のご指導があったからこそ全国制覇ができたと思います。

印象に残っている試合は、愛知県戦です。退場者を延べ６人もだし、非常に厳しい状況に追い込まれながらも、集中力を切らさず粘り強くプレーした選手の底力を感じました（試合後全員号泣）。

３年生は本来２学期の休日ともなれば、友達とゆっくり過ごしたり受験勉強に励んだりとしているなか、選手は休日を返上して約４ケ月間本当によく頑張ってくれたと思います。チーム結成当初は思うようにチーム力も上がらず、このままでは「印象が薄いチーム」で終わってしまうかもと心配していました。しかし、終わってみたら「一生忘れられないチーム」になりました。それぞれの高校に進学してからも、熊本県のハンドボールをリードしていってくれることを期待しています。

ここに至るまで多くの方々に支えられてきました。少しでも恩返しができるよう、今後ともハンドボールの発展に尽力していきたいと思います。

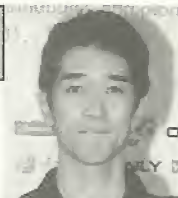


第16回世界女子ハンドボール選手権大会から

審判報告と在クロアチア大使のメッセージ

昨年12月に行われた第16回世界女子選手大会には、ヨーロッパで開催された世界選手権としては初めて日本人ペアがノミネートされた。今号に於いては世界選手権初デビューとなる浜田浩和氏（ペアは小笠原久郎氏）のレポートを掲載する。併せて、大会終了後西窪監督宛に届いた在クロアチア大使、池田要氏のメッセージを掲載致します。

第16回世界女子ハンドボール選手権大会に審判員と参加して



国際審判員　**浜田浩和**（東京都立晴海総合高等学校）

国際ハンドボール連盟（IHF）より正式に世界選手権・クロアチア大会にノミネートされたことを知ったのは10月に入ってからの事でした。つい前週、神戸でオリンピック予選が行われ、興奮の余韻が冷めやらぬ間の出来事でした。嬉しさを感じる間もなく出発準備が始まりました。

10月10日までにIHFに参加の意思表示をしなければならない第一関門。大会全期間はミニコースと往復の行程を含め18日。教員の私にとって、授業日の大会参加は難しくなってきた昨今、都教育委員会の許可は11日。しかし、許可を出して頂けたのだから、あとは最善を尽くすだけです。そして、大会までにシャトルランテスト及びトレーニング（ゲームを含む）などの記録簿を作成。以前、世界ジュニアに参加した際のミニコースをもとに、ルールテスト、ビデオテスト、シャトルランテストなどの準備が第二関門。さらに、大会中にいい仕事（良いパフォーマンスを発揮）する第三関門。

12月1日、大会をコントロールするIHF役員の下、全16ペア参加のミニコース。今回は、時間の関係から講義が中心でした。その日の夕方にはバスで、Bグループ会場のポーレッチへ4時間の移動。アイスランド、デンマーク、スイスの審判と共にプラウゼ氏（PRC、ドイツ）のコントロールで、予選ラウンド5日間で4試合を担当しました。午前中は2時間程のミーティングで前日の試合の講評。とても厳しいプラウゼ氏から、以前のジュニア選手権に比べ



国際ハンドボール連盟のメンバーとともに

ると見違えるほど上達したと4試合共に70点を超える合格点を得られたことは、私達にとって大きな成果であったと思います。大会中も、いい仕事をするために反省し、実行するの繰り返しで、今後もさらに努力していきたいと思います。なお、詳細につきましては審判委員会に報告書を提出する予定です。

最後になりましたが、今大会に同行お世話頂きました渡邊IHF理事・日本協会会長並びに西窪女子ナショナルチーム監督、日本ハンドボール協会斎藤審判部長をはじめとする諸関係者の皆様にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。



浜田氏（左）とペアの小笠原久郎氏

クロアチア大使からのメッセージ

日本女子ハンドボール代表監督　西窪　勝広　様

在クロアチア大使　**池田　要 氏**

新年明けましておめでとうございます。

お礼のご挨拶をいただき恐縮しております。昨年はお陰様でよい試合を見せていただきました。最初のチュニジアとの試合では私にとって初めてのハンドボールの観戦でもありましたので大変興味深く拝見しました。

お気付きだったと思いますが、特に観客席の一角にトゥラニュというカルロバッツの近くで戦争被害の大きかった地域の小学校の人たちが陣取って元気よく声援していたのが印象的でした。日の丸の旗も手製でほほえましいものでしたが、数年前にODA予算を使って校舎の修復を援助した関係があり、日本には一際関心が高いのだと市長他から言われました。

ノルウェーとの試合では隣に仲良しのノルウェー大使夫妻がいて旗を振って大声援しており、やや応援においても苦戦をいたしました。いずれにしましても遠路来られて激しい試合内容ですから大変だったことと存じます。ご苦労様でした。

私も昨年に着任したばかりですので様々に機会を見つけては地方を訪ねることにしておりますが、今回も皆さんのご来訪の折にハンドボールというスポーツとあわせて、日本とクロアチアの関わりについてまた改めて知ることになりましたこと感謝申し上げる次第です。

その後、ローマ・カトリックの国柄よろしく華やかなクリスマス・シーズンも終わり、平和に新年を迎えております。戦争で傷ついた人々の心を癒すためというのもあるのでしょうがスポーツにはとりわけ熱心な様子が窺えます。

今後ともクロアチアの人々とよろしくお付き合いいただきますようにお願い申し上げます。

日本のハンドボールチームがますます強くなりますように期待しております。

2004年が皆様にとって最良の年になりますように！

静岡県ハンドボール協会会長

稲森照男氏 旭日小授章

受章のお祝い

静岡県ハンドボール協会顧問　片瀬 喜代次


国体開会式時の稲森照男氏

この度、静岡県ハンドボール協会会長、稲森照男氏が旭日小授章を受章されましたことに、心からお祝い申し上げます。稲森氏は昭和18年4月名門静岡高校入学、23年慶應義塾大学経済学部に進学し、ハンドボール部に所属しました。3、4年生時に関東学生選抜となり、関西学生選抜と王座を争いました。4年生時には主将を務める活躍をしました。この間、地元静岡常北高校の技術指導を行い、同校が数年に渡り全日本高校選手権、国民体育大会で優勝する黄金時代の基礎作りに貢献されました。

大学卒業後は食品原料卸商、富士農商事株式会社に所属し、昭和34年総理府より皇太子御成婚記念行事として実施された、日本青年海外派遣団員として米国に3ヶ月滞在し、世界の新しい知識を十分に学ばれました。昭和39年には静岡県青年会議所の理事長に就任するなど、実業界のホープとして各方面で精力的に活躍され、昭和43年より富士農商事株式会社代表取締役社長に就任されました。

ハンドボール界では、昭和52年静岡県ハンドボール協会、第五代会長に就任され現在に至っておられます。この間、母校慶應義塾大学ハンドボール部の副会長、会長を務め、昭和60年より5年間、日本体育協会の理事を務められるなど競技団体だけにとどまらず、静岡県、日本体育の発展振興に尽力された功績は多大なものがあります。

今後とも健康に留意され、益々のご活躍をお祈り致して、お祝いの言葉と致します。

◆ハンドボール・アラカルト◆　切手に見るハンドボール（5）

先月号に引き続きオリンピック切手を紹介致します。今回は1976年のモントリオール大会です。前回ミュンヘン大会は男子のみの開催でしたが、モントリオール大会では男女開催がされました。男子は11カ国、女子は6カ国が参加しました。

優勝は男子がソ連、準優勝ルーマニア、3位はポーランド、日本は9位でした。監督は竹野奉昭氏、コーチ東嘉伸氏、選手はＧＫ本田洋氏、ＦＰ木野実氏、中井武三氏、松原光三氏など。女子優勝はソ連、準優勝東ドイツ、3位はハンガリー、日本は5位でした。監督は井薫氏、選手はＧＫ和田祥子さん、ＦＰ島田夏枝さん、蔵田照美さんなど。

モントリオールオリンピックのハンドボール切手は数種類発行されています。今回はその中からアルバニア（切手①)、マリ（切手②)、クウェート（写真③）を紹介します。前回大会に引き続きメダル獲得したルーマニアでは銀メダル入りの切手が発行されました（切手④)。



切手①



切手②



切手③



切手④



ワイドな補償でみんなの元気を応援します！

スポーツ安全保険

1,000万人の保険

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動などに最適な保険です。

5名以上の団体でご加入ください。

団体	対象	加入区分	対象となる事故の範囲	掛金（1人年額）	傷害保険 死亡	傷害保険 後遺障害（最高）	傷害保険 入院（1日につき）	傷害保険 通院（1日につき）	賠償責任保険（補償限度額）	共済見舞金
子どもの団体	・中学生以下の子ども ・スポーツ活動を行わない大人	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故 500万円（各免責1,000円）	突然死（急性心不全、脳内出血など）160万円
子どもの団体	・中学生以下の子ども	AW	団体活動中とその往復中	1,050円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	上記補償に身体・財物賠償 合算で 1事故500万円を加算	突然死（急性心不全、脳内出血など）160万円
子どもの団体	・中学生以下の子ども	AW	団体活動中とその往復中 以外	1,050円	100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算で 1事故 500万円（免責1,000円）	対象となりません
子どもの団体	・子どもと一緒にスポーツ活動を行う大人（指導者）	AC	団体活動中とその往復中	1,000円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故 500万円（各免責1,000円）	突然死（急性心不全、脳内出血など）160万円
子どもの団体	・子どもと一緒にスポーツ活動を行う大人（指導者）	C	団体活動中とその往復中	1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故 500万円（各免責1,000円）	突然死（急性心不全、脳内出血など）160万円
大人の団体	・大人の文化活動、ボランティア活動、地域活動（スポーツの指導、審判、ダンス、踊り等を除く。）	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円（免責1,000円） 財物賠償 1事故 500万円（免責1,000円）	突然死（急性心不全、脳内出血など）160万円
大人の団体	・老人クラブなど（60歳以上）	B	団体活動中とその往復中	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
大人の団体	・大人のスポーツ活動（野外活動、身体運動を含む。）	C	団体活動中とその往復中	1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
大人の団体	・危険度の高いスポーツ活動（アメリカンフットボール、山岳登はんなど）	D	団体活動中とその往復中	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

対象となる事故 ★グループ活動中の事故 ★往復中の事故

保険期間 平成16年4月1日午前0時より翌年3月31日午後12時まで（申込受付は3月から）

あいおい損害 共栄火災 損保ジャパン 大同火災
東京海上 日動火災 日新火災 ニッセイ同和損害
日本興亜損害 富士火災 三井住友海上

保険については東京海上を幹事会社として、上記損害保険会社11社との共同保険となっております。（2004年4月現在予定）

お問い合わせ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目12番1号 03-5510-0022

財団法人 スポーツ安全協会

ホームページアドレス http://www.sportsanzen.org

資料請求（発送センター）※電話での対応はしておりません。
FAX専用フリーダイヤル（自動受付） 0120-104442

「加入依頼書（都道府県別／30名まで記入可）」、「団体員名簿（60名まで記入可）」、「あらまし」、「事故通知ハガキ」、「（団体員配布用）しおり」のご請求の際、①資料内容（上記印刷物名）②必要部数③送付先の住所④氏名⑤電話番号をお書きのうえ、左記FAX番号宛お送りください。
なお、発送には多少日数がかかる場合がありますので、ご了承ください。 ●お急ぎの場合はスポーツ安全協会各支部までご依頼ください。

ホームページ（http://www.sportsanzen.org）でも同様に受付しておりますので、ご利用下さい。

〈保険会社が経営破綻した場合の取扱いについて〉引受保険会社が経営破綻した場合には、保険金などお支払いする金額が削減されることがあります。この保険の傷害保険部分は損害保険契約者保護機構の補償対象となりますが、その場合であっても、全額が補償されるわけではありません。また、この保険の賠償責任保険部分（一部を除く。）は損害保険契約者保護機構の補償対象ではありません。詳細につきましては、最寄りの東京海上までご照会ください。なお、この保険の共済見舞金につきましては、保険会社の経営破綻にかかわらず、スポーツ安全協会より支払われます。

2004年度
(財)日本ハンドボール協会登録にあたっての注意

1. 登録用紙について

登録用紙は6種類、10種別用意されています。

(1)「一般L・一般A」、「リージョナル」、「大学」、「高専・高校」、「中学生・スポーツ少年団」、「小学生・スポーツ少年団」に区分されていますので、該当する種類の用紙で種別ごとに登録して下さい。小学生については競技人口把握のために行うものです。なお、小学生大会など全国大会に出場するためには、チームおよび個人の登録が必ず必要となります。ご面倒ですが、ご協力よろしくお願いいたします。

(2)種別の異なる登録用紙を使用して、他の種別の登録は出来ませんのでご注意下さい。また、年度内にチームの種別を変更することは出来ません。

(3)登録用紙はチーム役員・選手数が多い場合に裏面にも記載できます。但し、裏面を使用した場合は、「副」、「写」のコピーは両面コピーをして「正」と同様に1枚の用紙にして下さい。

(4)登録用紙は、日本協会ホームページ（URL http://www.handball.jp）から、ファイルをダウンロードして使用しても構いません。但し、「エクセル」ファイルのみしか用意しておりませんので、対応できない場合は各都道府県協会より配布を受けて下さい。

2. 登録規定第2条にしたがって

チームおよび個人（チーム役員および選手）は日本協会に必ず登録して下さい。登録を行わなければ日本協会、各都道府県協会、または各協会・連盟が主催、共催する大会にチーム役員（部長、監督、コーチ、トレーナー、ドクター、マネージャー、主務）および選手として参加することは出来ません。また、チーム役員であっても選手として参加する場合は選手の登録もして下さい。虚偽の記載（誤記であっても）があれば、日本協会懲罰委員会にかけられますのでご注意下さい。

3. 種別について

(1)「一般L」について

日本リーグ加盟チームのことで、すべての大会に参加資格があります。

(2)「一般A」について

日本リーグ以外のすべての大会に参加資格があります。

(3)「リージョナル」について

都道府県内での大会のみ参加資格があります。「リージョナル」種別のチームに登録した選手は、国民体育大会（予選を含む）への参加資格はありません。

(4)大学

全日本学生連盟に加盟し、日本協会に登録したチームおよび個人を指します。これ以外の大学生は、「一般A」または「リージョナル」登録となります。

(5)高専

全国高等専門学校体育協会ハンドボール競技専門部に加盟し、日本協会に登録したチームおよび個人を指します。これ以外の高専学生は、「一般A」または「リージョナル」登録となります。

(6)高校

全国高等学校体育連盟ハンドボール部に加盟し、日本協会に登録したチームおよび個人を指します。これ以外の高校生は、「一般A」または「リージョナル」登録となります。

4. 日本協会登録料

種　別	一般L	一般A	リージョナル	大　学	高専・高校	中学・少年団	小学・少年団
チーム	700,000 円	35,000 円	5,000 円	17,000 円	10,000 円	2,000 円	0
チーム役員@*	2,000 円	2,000 円	2,000 円	2,000 円** 学生 600 円***	2,000 円**	2,000 円**	2,000 円**
選手@*	1,500 円	1,300 円	600 円	600 円	0	0	0

*　登録締め切り後の個人（チーム役員及び選手）の追加登録料は、登録時と同額です。
**　同学校（団体）の男・女両チームのチーム役員を兼任する場合は、登録料を１チーム分のみとする。
　同学校（団体）の学生（生徒、児童）をチーム役員に登録する場合は、登録料を選手と同じにする。
***　同大学の学生が選手とチーム役員を兼任する場合は、１名分の登録料（600 円）のみでよい。

5. 登録用紙作成数、提出先および期限について

⑴各チームは登録用紙を必ず「正」１部、「副」２部、「写」１部の計４部（「副」、「写」は「正」のコピーでよい）作成して、「正」１部、「副」２部の計３部を所属の都道府県協会の指定する日までに提出して下さい。なお、「写」は控えとしてチームで保管して下さい。裏面を使用した場合は、「副」、「写」のコピーは両面コピーをして「正」と同様に１枚の用紙にして下さい。

⑵登録用紙をファイルで提出することを可能と致します。但し、直接の提出先（都道府県協会）が対応できない場合がありますので、所属の都道府県協会にお尋ね下さい。

6. 学校単位における合同チーム登録について

所属する連盟が合同チーム編成を許可している場合は、合同チームでの登録を認めます。学校名の欄に「○○中学校＋□□中学校（合同）」と明記して下さい。

7. 個人の登録チーム数について

⑴チーム役員は複数チームに登録できます。但し、登録料はそれぞれにかかります。特例として、同一の学校・団体（大学、高専、高校、中学、小学、少年団）において男子・女子両チームのチーム役員を兼任する場合は、登録料を１チーム分のみとします。

⑵選手登録は１人１チームのみとし、複数チームに登録（重複登録）できません。重複登録は登録規定により懲罰の対象となります。但し、国民体育大会、その他、特別の選抜チームの登録については別に定めます。

8. 国体一時登録について

日本協会登録用紙で登録手続きをされたチームが１人以上補強して国民体育大会へ出場しようとする場合は、国体一時登録をする必要があります。但し、構成メンバーの年齢は、登録用紙の記載いかんに関わらずすべて「国民体育大会規定」の適用を受けるものとします。

9. 登録証の発行について

⑴登録したすべてのチーム役員および選手には、登録証を発行します。有効期間は当該年度末までです。紛失などで再発行する場合は、事務処理費として 500 円のご負担をいただきます。

⑵登録証は日本協会に登録されたことを示す重要なものです。各種大会で登録証の提示を求めますので、試合の際は必ず登録証を持参して下さい。登録証の保管・所持には十分ご注意、ご配慮をお願いします。

10. チームの新規登録について

新設（新規）チームの場合は、登録締切以降でもその都度登録を受け付けます。但し必ず各都道府県協会を経てお送り下さい。新設チームとは前年度に日本協会登録をしていないチームのことを言います。

11. チーム役員および選手の追加（新規）登録について

チーム役員および選手の追加登録はその都度認められます。追加登録は大会申込期日までに、各都道府県協会を通じて完了されていなければなりません。所定の届け出用紙に必要事項を記入し、所定の追加登録料と共に、各都道府県協会を通じで日本協会へ提出して下さい。日本協会が受理した日をもって有効とします。

12. 選手の追加（移籍）登録について

⑴当該年度にチームに個人登録し、そのチームをやめ、他のチームで再び競技をしたい場合は登録を一旦抹消し（13 項参照）、新チームで追加（移籍）登録をしなければなりません。

⑵追加（移籍）登録の１度目は、当該年度内のいつでもできます。一度追加（移籍）登録をした場合は、当該年度２番目の登録チームに３カ月間在籍しなければなりません。３カ月経過しなければ２度目の追加（移籍）登録はできません。

⑶追加（移籍）登録をする場合は、所定の届け出用紙に必要事項を記入し所定の追加登録料と共に、各都道府県協会を通

じて日本協会へ提出して下さい。日本協会が受理した日をもって有効とします。なお、追加（移籍）登録用紙には、前所属チーム責任者印及び本人印が必要です。

13. 登録抹消について

所属チームをやめる場合は、登録抹消手続きをする必要があります。所定の届け出用紙に必要事項を記入して、各都道府県協会を通じて日本協会へ提出して下さい。日本協会が受理した日をもって有効とします。なお、登録抹消用紙には、本人の承諾印が必要です。

14. 登録用紙記入の際の注意事項について

登録用紙に記入する際は、下記事項に注意し正確に記入して下さい。なお、前年度の登録一覧表（但し全項目は入っていない）を各チームに配布しますので、ご参照下さい。

この説明書はすべての種別に共通に作成してありますので、登録用紙に見あたらない項目の説明もあります。その場合は読み飛ばしして下さい。

(1)新規・継続、種別、男女別欄および加入連盟（団体）は該当に○印を付けて下さい。

(2)所属都道府県の欄にはチームを登録する都道府県名を記入して下さい。

(3)登録役員数および登録選手数欄には、登録する個人の合計数を記入して下さい。

(4)登録役員数欄には、該当する人数を記入して下さい。

(5)チームNo.、チーム名（学校名）は前年度に登録がある場合は同じNo.、名称にして下さい。チーム名を変更する場合は、別途「チーム名変更届（理由書）」（書式任意）を添付して下さい。

(6)代表者欄は、チームを代表される方（校長、部長、監督、指導者など）の氏名をお書き下さい。

(7)チーム（学校）所在地を記入して下さい。

(8)連絡先欄は、日本協会登録証や各種通信物が確実に届くところを正確に記入して下さい。担当者名、送付先団体名が必要な場合は、必ず記入して下さい。機関誌送付先が連絡先と異なる場合は、機関誌送付先も正確に記入して下さい。もし登録後に転居などで住所を変更される場合は、速やかに都道府県協会を通じ日本協会に連絡をして下さい。

(9)各箇所のフリガナ欄には必ずカタカナで記入して下さい。郵便番号（〒）は必ず新７桁番号を記入して下さい。住所欄への都道府県名記入は不要です。

(10)すべての種別のチーム役員、および「一般Ｌ」、「一般Ａ」、「リージョナル」、「大学」に登録した選手は特にコンピュータ入力をし、登録No.で個人管理を行います。登録No.は生涯個人No.となります。前年度に発番がない場合、または、今年度、新規に登録するチーム役員および選手は番号欄に（新）と記入して下さい。役職欄は部長、監督、コーチ、トレーナー、ドクター、マネージャー、主務がこれに該当します。但し、「役職名」はチーム状況把握のために行うもので、この「役職」で登録を規定するものではありません。従って、それぞれの大会規定に従い役職名を変更することが出来ます。

(11)「大学」、「高専・高校」、「中学生・スポーツ少年団」、「小学生・スポーツ少年団」に登録するチーム役員の内、同一学校（団体）の男子・女子両チームのチーム役員を兼任する場合は、役職欄に“監督（兼）”のように役職名の後に“(兼)”と記入して下さい。また、登録料の免除を受ける側の登録用紙の現住所欄に、住所を記入せず“男子チームで支払い”のように記入して下さい。

(12)「大学」、「高専・高校」、「中学生・スポーツ少年団」、「小学生・スポーツ少年団」に登録するチーム役員の内、同学校（団体）の学生、生徒、児童の場合は、番号に○をして下さい。

(13)「大学」に登録する学生チーム役員の内、選手と兼任する場合は、チーム役員欄に記入せず、選手欄の番号に○をし、番号左外欄外に「役職名」を記入して下さい。

(14)選手欄の通し番号はユニフォーム番号とは関係ありません。上から詰めて記入して下さい。

(15)過去に登録した個人が新規に登録をし、新たに登録No.を取得すると重複登録としてリストアップされます。重複登録は登録規定により懲罰の対象となりますので、間違いのないようにご注意下さい。特に、種別が変わる（大学→一般Ａなど）、移籍などは、前年度（過去）の個人No.を確認し記入して下さい。

(16)生年月日は西暦で記入して下さい。昭和の場合は年号に25を足せば西暦下２桁になります。

(17)「契／非」欄はＩＨＦ規定に基づく契約の有無についてです。該当を必ず○印で囲んで下さい。

(18)勤務先は出来るだけ詳細に記入して下さい。

例：○×㈱、●▼高校教員、◇◆大学□学部△年

(19) 2003年度静岡国体に出場された方（都道府県大会及びブロック大会を含む）は、「国体出場都道府県名」を記入し、国体（都道府県大会及びブロック大会を含む）に出場する際に、「国民体育大会規定」に抵触しないように十分ご注意下さい。

15. 連絡先、機関誌送付先変更について

登録料には機関誌代を含みます（リージョナルは除く、中・小学生は一部の号のみ）。

連絡先、機関誌送付先変更の場合は、速やかに都道府県協会を通じ日本協会に必ずご連絡下さい。なお、機関誌年度は、登録締切期限の関係から2004年７月～2005年６月（1・2月、6・7月は合併号、年10回発行）で、通常の年度と異なります。３、４月の転勤・転居などの際は特にご注意下さい。

16. ご不明の点について

ご不明の点は、所属の都道府県ハンドボール協会または㈶日本ハンドボール協会（〒150-8050　東京都渋谷区神南1-1-1　電話：03-3481-2361）へお問い合わせ下さい。

平成15年度　チーム数・選手数一覧表

（財）日本ハンドボール協会　2004/01/31　現在

	種別	一般L		一般A		大学		高専		高校		中学生		小学生·少年団		リージョナル		合計	
No.	都道府県	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数
1	北海道	0	0	19	273	24	394	1	15	61	1,020	15	269	4	71	9	125	133	2,167
2	青森県	0	0	10	155	4	58	1	31	22	418	2	19	0	0	0	0	39	681
3	岩手県	0	0	10	158	4	44	1	29	40	804	32	772	2	44	20	272	109	2,123
4	宮城県	0	0	7	96	12	232	2	38	45	981	16	345	0	0	2	44	84	1,736
5	秋田県	0	0	9	120	3	37	1	29	12	242	5	116	3	79	0	0	33	623
6	山形県	0	0	10	134	1	19	1	22	18	362	5	80	0	0	0	0	35	617
7	福島県	0	0	6	94	3	39	0	0	44	664	27	742	0	0	0	0	80	1,539
8	茨城県	0	0	8	127	4	72	0	0	56	806	17	377	7	123	8	123	100	1,628
9	栃木県	0	0	4	62	3	52	0	0	19	341	14	285	1	24	3	36	44	800
10	群馬県	0	0	9	142	1	13	0	0	18	322	19	379	1	93	0	0	48	949
11	埼玉県	1	20	17	255	7	91	0	0	89	1,591	35	757	0	0	1	12	150	2,726
12	千葉県	0	0	9	140	7	119	0	0	57	964	31	466	3	62	9	107	116	1,858
13	東京都	1	22	16	259	44	722	2	33	143	2,485	29	473	2	36	52	961	289	4,991
14	神奈川県	0	0	11	155	11	162	0	0	148	2,177	60	824	2	25	16	231	248	3,574
15	山梨県	1	14	4	66	3	27	0	0	23	382	12	221	3	67	9	121	55	898
16	長野県	0	0	7	111	2	25	0	0	28	445	10	208	2	63	1	11	50	863
17	新潟県	0	0	5	64	4	68	1	11	12	233	1	9	1	18	2	20	26	423
18	富山県	0	0	9	144	3	51	1	27	27	452	33	682	12	245	4	42	89	1,643
19	石川県	1	18	9	153	3	47	1	13	21	346	23	504	1	16	1	20	60	1,117
20	福井県	1	16	7	93	2	27	1	18	20	400	15	340	5	83	6	87	57	1,064
21	静岡県	0	0	15	206	4	62	1	19	47	912	7	177	0	0	0	0	74	1,376
22	愛知県	5	86	9	180	29	460	1	33	242	4,737	157	2,878	13	127	0	0	456	8,501
23	三重県	1	23	9	131	5	62	1	16	40	575	32	652	4	52	0	0	92	1,511
24	岐阜県	0	0	15	224	4	49	1	24	52	986	52	1,084	7	240	2	18	133	2,625
25	滋賀県	0	0	5	74	3	43	0	0	24	492	13	265	0	0	1	8	46	882
26	京都府	0	0	7	103	18	233	1	14	40	623	10	227	0	0	19	177	95	1,377
27	大阪府	1	12	7	110	27	426	1	19	85	1,061	35	511	1	33	0	0	157	2,172
28	兵庫県	0	0	6	97	14	226	1	14	85	1,234	30	690	5	120	8	104	149	2,485
29	奈良県	0	0	5	76	5	66	1	15	27	391	21	442	3	52	0	0	62	1,042
30	和歌山県	0	0	7	109	2	27	1	15	20	289	15	349	1	20	2	16	48	825
31	鳥取県	0	0	3	50	1	16	1	26	15	253	6	114	0	0	1	17	27	476
32	島根県	0	0	2	24	1	12	2	33	10	186	2	21	0	0	1	9	18	285
33	岡山県	0	0	11	148	4	60	1	19	52	901	0	0	7	145	4	50	79	1,323
34	広島県	2	30	3	41	6	71	1	19	23	363	9	155	1	30	5	69	50	778
35	山口県	0	0	13	173	1	29	2	33	31	613	23	430	2	78	3	40	75	1,396
36	香川県	0	0	4	62	3	32	1	11	22	310	18	434	3	88	0	0	51	937
37	徳島県	0	0	0	0	4	42	0	0	10	177	0	0	0	0	0	0	14	219
38	愛媛県	0	0	7	112	5	63	0	0	32	672	5	115	1	22	0	0	50	984
39	高知県	0	0	4	42	2	25	1	25	11	144	8	125	0	0	7	58	33	419
40	福岡県	0	0	5	88	13	230	3	82	51	848	19	401	2	31	0	0	93	1,680
41	佐賀県	1	14	3	46	0	0	0	0	13	213	5	80	0	0	2	27	24	380
42	長崎県	0	0	7	105	2	17	1	22	30	592	15	248	3	45	0	0	58	1,029
43	熊本県	2	38	3	46	4	64	2	41	56	947	42	719	22	511	0	0	131	2,366
44	大分県	0	0	7	94	1	17	0	0	15	200	12	222	11	175	1	14	47	722
45	宮崎県	0	0	4	59	2	17	1	21	31	457	17	223	8	129	6	80	69	986
46	鹿児島県	1	18	6	79	4	62	1	21	34	524	16	347	3	45	3	34	68	1,130
47	沖縄県	0	0	16	239	5	92	0	0	66	1,370	53	987	19	313	15	212	174	3,213
	合計	18	311	369	5,519	314	4,802	39	788	2,067	35,505	1,023	19,764	165	3,305	223	3,145	4,218	73,139

頂点強化へ長期ビジョンを

企画･広報委員
早川　文司

フリースロー
Free Throw

日本男子代表スタッフが年を越してやっと決まった。松井康嗣氏が“暫定”ということで２月のアジア選手権兼世界選手権アジア予選（カタール）で指揮を執った。松井氏は日体大監督として何度もインカレで優勝を導いたほか、Ｕ－19、23スタッフとして若手育成に力を注いできたのはご承知の通り。松井氏の指導の原点「速攻」に磨きをかけての世界チャレンジ。予選まで１ヵ月しかない準備期間だが、どこまでカバーするか。

それはともかく、女子の世界選手権（クロアチア）で銅メダルを獲得、見事にアテネ・オリンピック出場権をつかんだ韓国には実際に驚かされた。

神戸の予選後、韓国協会は落胆の色は隠せなかったが、一方で「世界選手権でのチャンス」を視野に入れていた。日本で活躍する林五卿、呉成玉（いずれも広島メイプルレッズ）やヨーロッパで頑張る朴貞姫、呉令蘭を緊急招集してクロアチアにかけたのだ。

こうした巻き返し策が日本で取ることが出来るだろうか。ひと言で言えばまずは「ノー」であろう。彼女らはたとえ代表リストから外れても、なお第一線でプレーを続けている。林、呉の日本リーグでのプレーを見れば納得がいくだろう。かつての全盛時の輝きを失ってはいないのだ。だからこそ今回の結果に結びつけることが出来たといえるだろう。

神戸で中国に出場権を失ったあと「韓国は戦力が落ちた」という声さえあった。だが、世界選手権では見事に光を取り戻した。緊急選手招集は一方では、若手への貴重なアドバイスと経験になったはずである。

「30歳になった私と呉が中心で頑張るのだから…」。韓国合宿から一時、メイプルに合流した林は笑いながら話していたが、その表情には「世界のプレーヤー」の自信と責任感が漂っていた。そうした母国愛が若手をリードし、銅メダルへつないだのだろう。アテネの陣容は今のところはっきりしないが、林らのメンバー入りも検討されていると言われるがどうなるか見ものである。

その韓国にしても、中国にしても最大の課題にしているのがジュニア層、ユース層の強化である。国際スケジュールと国内スケジュールの調整も早い段階から長期計画を立てる必要がある。国際試合を数多く積むことも強化の一環。これも頂点だけでなく下部組織を含めてのスケジュール化が大切だ。世界の流れはますますスピードを増している。停滞は許されないし、乗り遅れてはせっかく世界に近づいてきた感のあるチャンスを逃がしてしまうことにもなりかねない。早い仕掛けこそが今は何より大切だと思うのだが…。



連載40

NTS2003報告

U－16・センタートレーニング閉幕

NTSコーディネーター　栗山雅倫

U－19のセンタートレーニングに引き続き、U－16のセンタートレーニングも、さる1月10・11日に開催されました。ご好評のうちに終了することが出来ましたが、今回は、参加メンバーのご報告をさせて頂きます。

U－16・男子

都道府県	選手名	学年	学校・チーム名
北海道	田中翔太	2	函館本通中学校
北海道	三浦雄大	3	札幌東月寒中学校
秋田	高久善光	3	湯沢南中学校
岩手	加藤順也	3	黒石中学校
岩手	伊藤成矢	3	黒石中学校
岩手	佐藤慎吾	3	花巻中学校
福島	斎藤英樹	3	本宮第一中学校
茨城	大山天靖	3	けやき台中学校
茨城	鮎川竜彦	3	けやき台中学校
茨城	木村俊彦	3	茎崎中学校
神奈川	光武純	3	西中原中学校
神奈川	岸部敬	3	中田中学校
群馬	畑村大樹	3	東中学校
埼玉	小舩康弘	3	南中学校
千葉	佐々木創史	3	花見川第二中学校
東京	増田健	3	横川中学校
山梨	佐野誠一	3	塩山中学校
愛知	貝塚将太	3	汐路中学校
愛知	寺脇将	3	汐路中学校
愛知	多和田祐介	3	八幡中学校
岐阜	梶屋秀彰	3	中山中学校
岐阜	小林健	3	中山中学校
三重	岩瀬遼	3	白子中学校
富山	河内匡秀	3	大門中学校
石川	時村浩幹	3	御幸中学校
福井	大嶋誉志央	3	光陽中学校
福井	出村直嗣	3	金津中学校
大阪	連基徳	3	大体大附属中学校
大阪	野中勝太	3	大体大附属中学校
大阪	岩下幸司	3	豊中第13中学校
兵庫	西脇和宏	3	高砂中学校
奈良	大串有高	3	大瀬中学校
岡山	那須俊幸	3	総社西中学校
岡山	松岡和幸	3	総社西中学校
山口	安田貴光	3	岐陽中学校
山口	木本陽平	3	東部中学校
香川	大芝裕也	3	綾南中学校
香川	三好直宏	3	香川第一中学校
愛媛	中嶋佑介	3	久米中学校
宮崎	山下和樹	3	小林三松中学校
熊本	藤本純季	3	都呂々中学校
大分	久保侑	3	明野中学校
大分	伊東尚希	3	植田西中学校
福岡	増永道人	3	那珂中学校
沖縄	前里亮太	3	仲西中学校
沖縄	砂川慶成	3	神森中学校
沖縄	玉城聖也	3	神森中学校
沖縄	上原健治	3	神森中学校
沖縄	比嘉竜太	3	浦西中学校

U－16・女子

都道府県	選手名	学年	学校・チーム名
秋田	阿部加奈子	3	羽後中学校
秋田	佐藤愛菜	3	羽後中学校
岩手	町屋なつみ	3	城西中学校
岩手	日沢有里	3	矢巾北中学校
茨城	小林彩香	3	岩井中学校
茨城	有田香織	3	鬼怒中学校
神奈川	一戸いずみ	3	中田中学校
群馬	鳥飼翠	3	南中学校
群馬	齋藤美貴	3	南中学校
埼玉	樽井沙織	3	大増中学校
埼玉	桐原加奈	3	大増中学校
埼玉	後藤理沙	3	吉川中央中学校
栃木	小池仁実	3	吹上中学校
栃木	猪瀬千東	3	石橋中学校
愛知	細田英子	3	川名中学校
愛知	和田真実	3	川名中学校
愛知	林志帆	3	川名中学校
岐阜	橋本彩夏	3	東山中学校
三重	長田彩加	3	朝明中学校
三重	柏木貴恵	3	朝明中学校
富山	西村恵理子	3	氷見南部中学校
富山	石野実加子	3	氷見南部中学校
富山	横嶋未来	3	堀川中学校
石川	山野由美子	3	浅野川中学校
京都	後藤千渡世	3	大住中学校
兵庫	亟々知佳	3	大久保北中学校
大阪	岡本真季	3	上野芝中学校
大阪	山田優香里	3	上野芝中学校
広島	徳山あさみ	3	甲田中学校
岡山	加藤陽子	3	総社西中学校
山口	萩原まみ	3	岩国中学校
山口	山上麻美	3	住吉中学校
香川	長尾優梨香	3	香東中学校
香川	藤澤香奈	3	香川第一中学校
愛媛	宮谷麻里	2	雄新中学校
鹿児島	田原詩織	3	隼人中学校
宮崎	甲斐幸代	3	延岡中学校
熊本	佐藤友利恵	3	松橋中学校
熊本	中池翠	3	住吉中学校
熊本	田中千恵	3	山鹿中学校
沖縄	下地まいの	3	仲西中学校
沖縄	上地絵理	3	浦添中学校
沖縄	座間味由喜	3	浦添中学校
沖縄	平良彩乃	2	神森中学校
沖縄	平安山静華	3	浦西中学校
沖縄	渡久山千裕	3	浦西中学校

以下、ご参加いただいた、ご引率の指導者の方々です。（敬称略・順不同）

小林　礼、輪島　宏、大沼一義、添田　崇、増田　徹、野口和彦、内田和之、守屋一司、市川禎治、水上敬志、奥山成道、矢澤恵美子、樋上敦士、中田一宏、伊藤良知、逢阪静男、川端　亨、菅沼　誠、中藤　宏、河村康男、益城幸治、宇喜多優哉、堀内佐波、木切倉進、薬師寺徳之、菅原伸二、上江洲　登、高橋俊英、熊谷一史、酒井めぐみ、古矢　勲、中里　薫、齋藤英邦、細津　誠、石塚廣一、稲見雄太、白石成世、松岡輝行、栗本健一郎、光安淳子、田村裕志、川田修司、原　安子、西岡　真、森脇雄治、浅田義明、神代雅光、平野雅也、佐々木和裕、作道　勉、隈元俊和、川野美香子、田中繁蔵、竹本　文、黒木幸博、上地英樹

平成15年度 車いすハンドボール大会開催される

日本ハンドボール協会評議員／京都府ハンドボール協会副会長　**小西博喜**（近畿福祉大学教授）

第14回全京都車いすハンドボール大会兼全国交流大会

日時：平成15年11月30日(日)
場所：京都市障害者スポーツセンター
主催：京都障害者スポーツ振興会、(財)京都市障害者スポーツ協会、(財)京都新聞社会福祉事業団、京都日吉ヶ丘ライオンズクラブ
後援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、(財)京都府体育協会、京都府ハンドボール協会
主管：京都障害者スポーツ振興会

【総評】 Ｉ部は５連覇６度目の優勝を目指すドリアーズが安定した攻守の強さをみせ、シュートは高低、左右コーナーをつくタイミングの良さで得点をあげた。それぞれの個人技の特長を生かしており、ディフェンスの戻りも速く、全員がよく動いた。順当の勝利といえる。また、神奈川ストリートＡはパスワークがやや単調に走り、シュートに精彩を欠き惜しくも準優勝。３位にはファインクライフ（大阪）が入った。

【結果】
《Ｉ部》

１回戦	神奈川ストリームＡ	17－４	ハンドインハンド
２回戦	ドリマーズ	25－５	大阪ファイン
	神奈川ストリームＡ	16－７	日吉丘ＬＣ
決勝戦	ドリマーズ	27－20	神奈川ストリームＡ

優勝 ドリマーズ、**準優勝** 神奈川ストリームＡ、
３位 大阪ファイン

《II部》

１回戦	サン・アビ城陽	13－12	神奈川ストリーム
２回戦	笑福亭一門	15－０	林家一門
	サン・アビ城陽	11－４	呉竹

（※サン・アビ城陽はオープン参加のため、笑福亭一門の優勝が決定）
優勝 笑福亭一門、**準優勝** 呉竹、**３位** 神奈川ストリーム

第２回全大阪車いすハンドボール大会

日時：平成15年11月１日(土)
場所：大阪府立障害者交流促進センター

【総評】 ９チームの参加で、３チームづつに分かれて予選リーグを行った。決勝トーナメントでは、バランスの取れたスポーツクラブＡＩと個人プレーに走るオアシスが決勝に進んだ。さすがに決勝とあって一進一退の一点を争う迫力のある展開。かろうじてスポーツクラブＡＩが１点差で逃げ切り初優勝を飾った。



【結果】
Ａリーグ　１位 オアシス　２位 精華高校　３位 花ざかり組
Ｂリーグ　１位 ＳクラブＡＩ　２位 此花学院高校
　３位 大阪体育大学
Ｃリーグ　１位 ファインクライン　２位 和泉高校
　３位 Ｓエンジェル

《決勝トーナメント》

１回戦	此花学院	７－２	和泉高校
	Ｆクライン	11－10	精華高校
２回戦	オアシス	12－８	此花学院
	ＳクラブＡＩ	14－４	Ｆクライン
決勝戦	ＳクラブＡＩ	14－13	オアシス

優勝 スポーツクラブＡＩ
準優勝 オアシス
３位 ファインクライン、此花学院高校

集中連載③ スペイン研修報告

日本ハンドボールリーグGM担当
田中　茂

スペイン指導者ライセンス取得コース、指導者育成システム紹介

今回は、スペイン滞在中に参加しました、指導者ライセンス取得講習（A級）とレフリー講習会に特別に聴講生として参加したものと、私が実際にMONITOR（C級）のライセンス取得コースを受けた内容等を報告致します。

A級、B級コーチに関しては毎年6月中からマドリードとバルセロナで集中講習を受けて取得しなければならない。

C級に関しては、スペインの各州で9月から11月にかけて行われる。

1）ライセンス取得までの経緯

・スペインはチーム指導者になるためにはライセンスの取得が義務づけられている。
・ライセンスには3種類あり、各カテゴリーによって異なる。
・ライセンスは段階をおっての取得となっている。

―MONITOR―（C級コーチ）
1年間に80時間の講習・実技講習を受け、18歳以下のカテゴリーの監督になれる。
―ENTRENADOR TERRITORIAL―（B級コーチ）
1年間に146時間の講習・実技講習を受け、スペイン2部以下のカテゴリーの監督になれる。
―ENTRENADOR NATIONAL―（A級コーチ）
2年間で150時間の講習・実技講習を受け、全てのカテゴリーの監督になれる。
（月曜日から金曜日まで1日5時間を3週間行う）

＊特別処置として
：体育大学出身でハンドボールを専攻していた者は、MONITORは免除となる。
：ナショナルチームの選手で2年間もしくは公式国際試合30試合以上出場選手は、MONITORとENTRENADOR TERRITORIALは免除となる。
：上記の2項目は外国人にも適用される。（大学での証明書・協会からの証明書が必要となってくる）。
＊最終的にはテストによる合否と実際にライセンスを取得しながら、ライセンスに合ったカテゴリーのチームに所属し練習の内容、自分の意見等（毎練習のノート）を書きとめ最終的に提出しライセンスが渡される事になっている。
試験での合格だけではライセンスを与えられず、実際の指導日記を提出しなければならない。

また、テストはペーパーテスト、実技指導テストの2つが行われる。
＊また、ENTRENADOR NATIONALの資格を取得する条件として3部リーグ以上のコーチを2年以上行わなければならない。

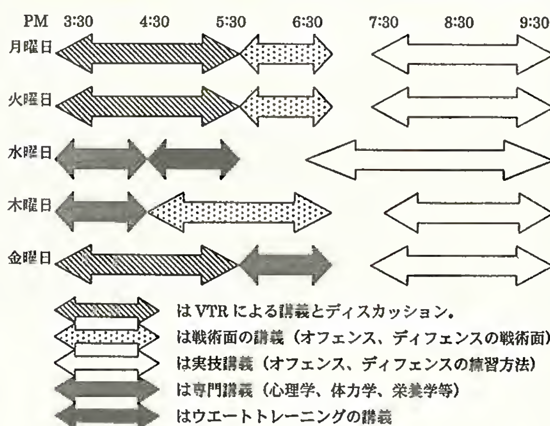
2）講習内容

・各カテゴリーにより講習内容は違う。
：MONITOR（C級コーチ）
主にスポーツの楽しさハンドボールの楽しさを基本概念に講習は行われている。
運動心理学、医学的要素、練習方法、戦術面、年齢に合った体力トレーニングなどを中心とした内容であり、基本の動きを様々な練習方法で指導ができるような講習となっている。

：ENTRENADOR TERRITORIAL（B級コーチ）
運動学、運動生理学、栄養学、運動心理学医学的なものを含み、それにビデオやディスカッション方式によるハンドボールの方法論を多く学んでいく、また精神面、技術面、体力面、組織面の全てを実技指導により学んでいく。

：ENTRENADOR NATIONAL（A級コーチ）
選手個々の能力を高めるための内容やチームの勝利のためのチーム戦術、技術指導をビデオやディスカッションを中心に行う。
技術指導も実践を想定したトレーニング方法に多くの時間を使い学んでいく。

＊ ENTRENADOR TERRITORIALの1週間の時間割



3）指導者育成システム

指導者ライセンスコース以外に、指導者のための指導者講習会が頻繁に各地で行われている、例えば、近隣諸国（フランス、ドイツ、スウェーデン）などのナショナルチームの監督や、各国のトップクラブチームの監督などによる講習である。

また、ジュニア育成やスペイン国内の将来のナショナルチーム構想を、各地で一貫して指導ができるように説明も行っている。

各国トップレベルの監督、国内のナショナルチーム監督の話を聞くことにより、多くの情報を得ることができる。

4）レフェリー講習会

レフェリー講習も毎年リーグ戦が始まる前の9月に行われ、これもライセンス制となっている。各カテゴリーによりレフェリーの条件等が違い、1部の試合をレフェリーできるのは、その中でも優秀な30人と決められている。

この30人は毎年の講習会に出席することを義務づけられているし、ペーパーテスト・体力テストの基準値をクリアーしていかなければならないと共に、毎試合審判委員会の委員達が試合でのレフェリングを調査している。

その委員達の調査結果も重要となり、ライセンスに値するかの評価によって、合否も決まるシステムとなっている。

また、講習会ではビデオによるディスカッション方式を採用し、たくさんの意見と共に、レフェリーの共通認識を高めていく講習となっている。

5）感想

私は、A級コーチ講習会に特別に参加し、C級コーチはライセンス取得のため受講いたしました。

スペインが近年、男子、女子までもナショナルチームが強くなってきた原因のひとつに、ジュニア層からのしっかりとした育成プランを経て、若年層からしっかりとした指導者による指導がなされていることに気づきます。

今回私が取り上げました、指導者ライセンス制度、指導者育成制度などは、指導者の質を高めるためにも有効な方法であり、しっかりとした結果が出ているのも確かです。

また、指導者の積極的な講習への参加、指導者としての向上心は日本では見られない光景であると感じました。

日本でも、選手と共に指導者の育成が重要な課題ではないかと思います。

特に選手若年層に対しての指導者育成を、考え行っていくことが日本代表チーム強化に欠かせない課題ではないでしょうか。

次回は、スペイン・ナショナル・トレーニングシステムの紹介です。

審判部だより

競技規則に関する通達

国際ハンドボール連盟の競技規則・審判委員会（PRC）から、2003年11月21日付で、競技規則及びその解釈に関する変更の通達が出されました。これを受けて、(財)日本ハンドボール協会においても

平成16年4月1日より

競技規則及びその解釈を下記の通り変更いたします。

（編集委員会注：下記4項目の説明として、国際ハンドボール連盟から送られてきた文書につきましては紙面の関係上、次号4月号に掲載いたします）

【1】競技規則7：11と競技規則解釈4

パッシブプレーの予告合図が出された後、たとえ何回フリースロー（またはスローイン）が攻撃側に与えられようとも、予告合図が有効である限り、レフェリーは（腕を挙げる）ジェスチャーをし続ける。そして、予告合図が失効したときに、レフェリーは腕を下ろす。

【2】競技規則4：4と競技規則第7条

何の影響も悪用する意図も全くなく、正当な目的をもってコート上のプレーヤーがサイドラインやアウターゴールラインを踏み越えていく場合には、不正交代とはみなさない。

【3】競技規則16：8と16：11

失格・追放となったプレーヤーが、競技の再開後に違反をした場合には、競技終了後に文書で報告する。つまり、このような状況において、当該チームのコート上のプレーヤーを減らすと言う罰則は適用されないということである。

【4】競技規則4：9

補充用（予備用）として粘着物（松やに等）を腕や手に付けて（貯めて）おいてプレーすること（相手を重大な危険にさらす行為）を禁止する。補充用の粘着物をシューズに付けておいてプレーすることはよい（ただし、大会規定や会場規定に従うこと）。

短期集中連載：沖縄県のハンドボール②

沖縄県の特徴と、『浦添市ハンドボール王国都市宣言』



沖縄県ハンドボール協会　三輪一義（琉球大学教育学部）

沖縄ハンドボール界の特徴

「沖縄県のハンドボールの特徴は何ですか？」と問われたら、どのような言葉が思い浮かぶでしょうか。全国の皆様にはいろいろなイメージがあると思いますが、８個のキーワードにまとめてみました。

①芸能・文化に肥えた県民気質

沖縄県民に流れている『血』がそうさせていると思いますが、芸能・文化に対する造詣がとても深い。これは琉球舞踊やオキナワンミュージックをみても一目瞭然です。沖縄の人達は感情表現を『踊る』ことで表すことがとても上手です。この『血』が、スポーツにおいても「観る」ことを楽しみ、「見られる」ことに喜びを感じ、「魅せる」プレーにつながっているのではないかと思います。

②観客の多さ（観る側が見られる側に）

県大会レベルの試合においても、観客の多さは尋常ではありません。日本リーグなどでは 1,000 人以上は当たり前ですが、普段の県大会でも会場のギャラリーが人で埋め尽くされます。地域・血縁の繋がりが強いために、選手と何らかのつながりがある人がほとんどであり、「５番は○○の妹だ」とやたら詳しい大人がたくさん観ています。観客が好選手を育てているとも言えます。特にインターハイ県予選決勝は、平日開催にもかかわらず、コートのライン際まで観客が座り込んで十数列に重なります。他県でもこのような光景はあると思いますが、私が 12 年前に初めてこの光景を目にした時は「日本に居て世界（の雰囲気）がみられる」と素直に感激したものでした。小学生も高レベルな試合を観る機会にあふれ、空きコートがあれば、我先にとスカイプレーやバックパスに挑む光景が日常茶飯事です。観る側が見られる側に自然と変化していく循環が成立しています。

③帰県本能

スポーツに限らず沖縄県出身者は沖縄が大好きです。ですから、高校を卒業して本土の強豪大学に進学した後、社会的にいろいろな背景があるにしても、そのほとんどが沖縄に指導者として戻ってきてくれます。これは沖縄県にとって、若手指導者の養成の点からも、とても重要なことです。

④マスメディアでの扱われ方

沖縄県では４大中央新聞が空輸されるゆえに夕方にしか販売されないため、沖縄タイムス＆琉球新報の２大地方紙が「全県紙」であり、全県民がこのどちらかを読んでいます。この両紙において県内スポーツの扱われ方は並大抵なものではなく、県大会レベルでも選手のカラープレー写真や優勝監督コメントなどは当たり前のように掲載され、選手・指導者の大きな励みになっています。また、指導者特集や全国優勝凱旋など、試合結果に留まらない報道も特徴的です。テレビ関係でもインターハイ県予選がＮＨＫで生中継されることもしばしばです。

⑤メッカの存在

ハンドボール人口を比較した場合、登録チーム数では全国５番目ながら、県民人口比ではダントツ１位の沖縄県でありますが、その中でも『メッカ』として沖縄ハンドボールを支えているのが『浦添市』です。この浦添市を核に、追いつけ追い越せと他地域が切磋琢磨し、県全体のレベルアップが図られています。１月の中学新人大会では 18 年ぶりに浦添地区以外の中学校が県大会を制しました。

⑥見えない「スポーツカルテ」の存在

オーストラリアのラグビーには「スポーツカルテ」というものがあり、この選手はいつから、どこで、誰に、どのように、ラグビーを習ってきたかということがわかるシステムが構築されているそうです。沖縄では実際に用紙にはなっていないものの、指導者が校種間を越えて、子供達のプレーを直接見る機会にあふれており、「もうひとつの一貫指導」が成り立っているといえます。１人の選手の発達状況（技術上達）を複数の指導者が 10 年以上に渡り見守る・関与する流れがここにあります。

⑦小学生ハンドボール

前回もお話ししましたが、沖縄の屋台骨を支えている小学

生ハンドボールは、地域の父母を中心とした小学校教員以外の指導者に支えられています。指導に携わるきっかけの多くは、自分の子供がその学校でハンドボールを始めたことでありますが、ハンドボールの魅力に取り付かれて、子供が卒業しても外部コーチ or 監督として情熱を持って子供達を導いてくれています。また、新たな取り組みとして、この12月には高校・中学校の先生方が協力して、自分の地域に小学生のスポーツ少年団チームを立ち上げました。



⑧マイナーではなく、まさしく「メジャー」

沖縄県においてハンドボールは「メジャースポーツ」であります。特に浦添市では、子供達はハンドボール部員であることが「自慢」であり、同じハンドボール仲間の九州・全国での活躍を「誇り」に思っています。

浦添市ハンドボール王国都市宣言

2004年1月17日(土)、沖縄県浦添市が「浦添市ハンドボール王国都市宣言」を行いました。『都市宣言』というキーワードでインターネット検索をしたところ、7万8千件のヒットがありましたが、「平和都市宣言」「健康都市宣言」「交通安全都市宣言」などがその大多数であり、その中から「スポーツ都市宣言」の299件をみても、ハンドボールにおける甲田町や氷見のように、「サッカーのまち」「スケートのまち」「柔道のまち」などは数多くありますが、特定競技を掲げての都市宣言は全国にも例がなく、画期的なことであります。

浦添市は東西8.4km、南北4.6km、人口は10万6千人ですが、市内小学校11校中10校、中学校5校全校、高校6校全校でハンドボール部が活動しています。1979年に神森中男子が初めて九州制覇をし、その2年後に神森中が全国制覇を成し遂げてから、84年の小学校全国初優勝（沢岻小）、02年の高校全国初優勝（陽明高）を経て、昨年の全国中学校大会での浦添勢同士の決勝対決、浦添市出身者を中心としたＪＯＣ沖縄選抜の劇的優勝まで、浦添市関係だけで全国制覇21回、九州制覇51回という輝かしい歴史を刻んでいます。







パネルに見入る子供達



表彰を受ける東恩納氏

浦添市民体育館で行われた式典には選手・父母など関係者1,100人がお祝いに駆けつけました。ずらりと並んだ優勝旗・カップ・トロフィーをはじめ、壁一面に飾られた100枚に及ぶ額装のプレー写真、体育館中を取り囲む各チームの横断幕が、全国でも例をみないこの都市宣言式典に花を添えました。儀間光男浦添市長は「この宣言により益々切磋琢磨が図られ、ハンドボール王国としてさらに大きなうねりが起こり、歴史と伝統が築かれていくことを願います」と挨拶され、浦添ハンドボールに貢献した50人の表彰者を含む参加者全員で宣言文が読み上げられました。式典終了後には、小学生による記念試合も行われ、全国レベルの試合が市民に向けて披露されました。

都市宣言は、我々沖縄ハンドボールに携わる関係者すべてに大きな責任を与えるものであります。「現在のこの頂点が有頂天にならぬように、更なる精進を心掛けねばならない。それが都市宣言に対する返礼だと思う」という宮城靖沖縄県協会理事長の言葉を改めて噛み締めている次第です。

次回は沖縄の小学生ハンドボールの実態について、お話しさせて頂きます。

花巻市の地域シンボルスポーツ推進事業

花巻市ハンドボール協会事務局　中島昭博（花巻北高等学校）



かつて花巻南高校女子の全国制覇、花巻北高校の三度のアベック県優勝、花巻クラブの活躍など、輝かしい実績のある花巻地域において、昨年から行政のバックアップを受けて展開している地域シンボルスポーツ推進事業を中心に２回にわたって花巻ハンドボール事情を紹介させていただきます。

主催：岩手県教育委員会　　☆**共催**：花巻市教育委員会

趣旨：地域に根ざした競技スポーツの振興及び選手の育成強化を図るため、高等学校のこれまでの伝統や地理的条件等に配慮し競技種目別（12 種目）に拠点校を定め、当該高等学校の所在する地域の中学校や地域指導者との交流を通じ、ジュニア期から高校生までの一貫した指導体制の確立を図るとともに、生徒各々が自分の能力を最大限発揮できる高校スポーツの環境づくりを推進する。

拠点校と目的：ハンドボール競技は、花巻北高等学校が拠点校となり、花巻地域の小・中高校生や指導者の相互交流を通じ、ジュニア期から一般まで、地域に根ざしたハンドボール文化の振興を推進するとともに、県のトップレベルが集中している盛岡地区に迫り、県全体の競技力のレベルアップを図ることを目的としている。

H15 年度の事業【開催月：講師（敬称略)】　予算総額　約 1,500,000 円

過去に行われた事業

①コンディショニング講習（５月：佐々木健次）
ＡＴによるメディカルチェックとコンディショニング指導

②花巻地域小学生ハンドボール教室（５月～：藤本元）
50 人を対象に計５回実施。終了証・参加賞授与

③県中総体前強化練習及び県高総体前合宿（５月：藤本元・藤本巳由紀）
花巻中、花巻北中、花巻北高、盛岡四高、一関高専を対象

④小学校ハンドボール研究集会兼Ｊ級指導員養成講習（６月：角紘昭・田中俊行・山本繁）…県内小学校教諭及び地域指導者を対象

⑤花巻ハンドボールフェスタ（６月：首藤信一・玉村健次・矢内浩）【写真１】
市内小中高生と関係指導者を対象に、地元出身の元オリンピック選手たちとパネルディスカッションや遠投＆ 7mt コンテスト。講師も含めた縦割りチームのリーグ戦。閉会式では講師の３人から提供してもらったユニホームや地元スポーツショップ提供のグッズを賞品として子どもたちに授与



【写真１】講師陣。左より、首藤氏、玉村氏、矢内氏

⑥鹿骨中学校男女招待試合（７月：武末潤）
県内男女上位２チームと選抜チーム、花巻中・北中・花巻北高１年を対象

⑦花巻版 NTS 講習会（10 月：栗山雅倫）
小中高生をモデルに関係指導者への指導法講習

⑧ハンドボール・キャラバン（12 月～：中島・谷川・山本・菅原・柏葉）

⑨花巻・湯沢中学３年生交流大会（12 月：川村・市丸・千田・成田）

⑩中高連携合同講習会（１月：小山哲央）…花巻中・花巻北中・花巻北高１年
※全日本マスターズ大会の打合せを兼ねて実施。

⑪県小学校交流会…盛岡１・矢巾１・花巻３の５チーム参加（親のゲームもあり）
ハンドボールキャラバンで実施した小学校も参加予定

⑫北東北中学校交流大会（岩角・千田・成田）
青森・秋田・宮城の男女チームと花巻中・花巻北中による強化練習会

"ハンドボール・キャラバン"と行政のバックアップ

昨年 12 月、花巻市と市教育委員会体育振興課の尽力（総額約 2,000,000 円）により、市内 12 小学校及び８中学校に、簡易ゴール（モルテン、スイングタフネット計 40 台）とボ

ール（モルテン、検定球＆ソフトスポンジボール計 436 個）が配置されました。これは、昨年から実施してきた上記の取り組みを市の広報誌や新聞各社に取り上げてもらったことにより、少しずつ市民や県民の認知度が高まり、行政担当者が「子ども達の発育発達にとって好ましい教材であり、県の事業に市でも助成を！」と動いてくれて実現したものです。
早速、各校の実情に応じて、授業や課外活動にハンドボールを取り上げてもらえるように市教委を通じて全小中学校に依頼するとともに、個別に折衝して理解と協力を求めているところです。

ハンドボール・キャラバンの初回は、花巻北高校に近い宮野目小学校で実施しました。過去にハンドボール指導の経験があり、古くなったゴールを市民体育館から譲り受け自分でラインを引いてコートを作っている佐々木繁夫校長の配慮により、本校ハンドボール部ＯＧで、私の同級生でもある沢田律子教諭が担任している４年生と、県小学校ハンドボール研究集会に参加した山岡勝利教諭が担任している５年生の２クラスずつを対象に、上記の担当者が計３回ずつ授業を担当しました。この授業の反響はことのほか大きく、新聞の元旦号に特集記事として掲載されました。今後は、市の広報誌やケーブルテレビにも年間通じて取り上げてもらう予定です。【写真２】

この事業が始まって間もなく、花巻中学校が県中総体初優勝に輝き、ハンドボールキャラバンがスタートした矢先に、花巻北中学校が県１年生大会優勝という素晴らしい実績を残してくれたことは、この事業の進展に追い風となりました。これまで、花巻クラブ Jr.・花巻クラブ・ガンバ花クラ・花巻北高校・花巻南高校・花巻農業高校の歴代の顧問・選手・ＯＢのみなさんが築いてきた足跡の延長に、このような行政のバックアップが実現したことを“大事な節目”と受け止め、これを契機として今後、小学校で経験した子ども達が中学校で継続できる環境作りのために、部活動設立への働きかけと年間スクールの創設、NPO 取得も視野に入れた総合型地域スポーツクラブへの移行の検討が当面の課題と考えています。



【写真２】ハンドボールキャラバン。宮野目小学校

今年、7/23-25「全日本マスターズ大会 in 花巻」では、11人制ゲーム（岩手で初めて試合が行われた記念すべき芝生コートで実施）と元オリンピック選手や名選手とちびっこ交流タイムを、9/25 日本リーグ花巻大会（大崎 - ホンダ、湧永 - ホンダ熊本）でも、ちびっこ交流タイムを２年目の地域シンボルの目玉企画として、予定しています。さらに、全日本チームの合同合宿が実現すれば、この上ない喜びです。

おわりに、お忙しい中、ご指導を頂いた講師の皆さま、花巻市総合体育館・花巻市民体育館・富士大学スポーツセンターなどの会場関係者、各校及び地域と行政の関係者皆さまに、心から感謝申し上げて、パート１を閉じます。

次回は、花巻の組織と普及状況、最近のハンドボール事情についてお知らせします。

「ミニハンドボール（ＣＤ－ＲＯＭ付）」発行のお知らせ

指導普及部　角　紘昭

指導普及部では平成 15 年度事業としまして、「ミニハンドボール（ＣＤ－ＲＯＭ付）」を佐藤靖氏（学校体育ハンドボール検討委員長・秋田大学教育学部）の協力により発行いたしました。これは国際ハンドボール連盟発行の「ミニハンドボール」の日本語訳で、今回は練習方法の解説ビデオ入りのＣＤ－ＲＯＭを添付いたしました。小学生チームの指導者や、これから地域で設立しようとされる方に最適です。希望される方は３月中旬より下記の事項を記入の上、現金書留にてお申し込み下さい。



タイトル：『ミニハンドボール（ＣＤ－ＲＯＭ付）』
価　　格：１冊　６００円（税、送料込み）
申 込 先：〒 150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1
　　　　　日本ハンドボール協会『ミニハンドボール（ＣＤ－ＲＯＭ付）』申込係
記入事項：注文冊数、購入希望者氏名、送付先（郵便番号、住所、ＴＥＬ）

平成15年度審判部合同会議報告

期　日　平成16年1月24日(土)・25日(日)
場　所　国立スポーツ科学センター
出席者　部長・副部長・審査指導員・各委員会委員長・各ブロック部長・各連盟部長　江成競技部長　26名

会議に先立ち、故福田英明審査指導委員長の冥福を祈り、黙祷をささげた。

福田英明審査委員長の逝去で空席になった審査指導委員長の後任に川島克之氏の就任を承認。また、三枝慶彦、伊藤宏幸両氏の審査指導委員就任を承認。

東海ブロック部長岩本晃寿、近畿ブロック部長小山勉、四国ブロック部長中川利彦の３氏の新任が紹介された。

1.報告事項

①A・B級審査結果

	A 級	B 級
審査申請者	３５名	３５名
書類不備者	0名	3名
欠席者	9名	5名
筆記不合格者	3名	0名
実技不合格者	6名	5名
合格者	１７名	２２名

・A級→筆記80点以上、
　　　　実技60点以上
・B級→筆記64点以上、
　　　　実技55点以上
・クーパー走　男子2400m
　　　　　　　女子2000m

この基準で審査。

② JHAレフェリーコースについて

・8月18日～21日滋賀県長浜市での長浜ドーム大会をモデルに実施。

・7名（内女子1名）が参加、講義・実技研修等密度の濃い研修を行った。

・後期は16年3月27日より日本体育大学にて、講義・実技研修・筆記試験・実技試験を行う。モデルは大学の強化練習試合。

③トップレフェリー研修会について

今年度実施された内容が報告された。この中で、ある一つの県が集団で欠席した現象が見られ、これについて検討した。部長から16年度全国大会担当から外すという提案がなされたが、検討の結果、警告を発し釈明させることになった。

④レフェリーの海外派遣について

本年度の状況が報告されたが、浜田・小笠原ペアが世界女子選手権大会にノミネートされ、予選リーグ4試合を担当したことが報告された。

⑤各ブロック・各連盟・各委員会の報告がされたが、この中で視聴覚委員会から、研修ビデオが近日中に完成するので、活用するよう報告された。入手方法等は後日連絡される。

⑥大会運営マニュアルについて

江成競技部長より、国内各大会の大会運営マニュアル、平成15・16年度原案が示され説明された。

2.審議事項

①平成16年度審判部事業計画の基本方針が示された。承認。

②平成16年度審判部事業予算が示された。承認。

これについて、日本協会の予算が緊迫しているため、緊縮財政を余儀なくされていること、さらに、toto売り上げの減少が補助金減少につながっている関係上、toto買い上げへの協力、又、協会独自の事業である「10万人会」の会員確保、あるいはムササビTシャツ購入を促進するよう部長より特に強調された。

③A・B級審査について

平成16年度のA級審査を、8月に大阪で行われる西日本学生選手権大会をモデルにするとの提案。承認。

従来実業団選手権大会をモデルとしていたが、学連からの希望と実連の力のある審判員で運営して欲しいとの要望が一致し、この提案になった。今後しばらくこの大会がモデルとなる。

公認審判員資格取得に関して修正案が示された。承認。

筆記試験　A級88点以上に
　　　　　　B級80点以上に
実技試験　A級を65点以上とする
クーパー走　体調不良等で基準に満たないものには、後日追試を行っていたが、今後は行わない。審査日に最善の体調で参加する。

B級審査を4地域に分散して行っているが、これに北海道から東日本学生選手権が函館市にて開催するので、この大会を北海道B級審査の対象に出来ないかとの提案。承認。

北海道地区　8月　函館市
北地区　6月　福島市
東地区　6月　甲府市
中地区　6月　堺市
西地区　5月　福岡市

4地域開催で派遣審査委員の予算編成をしているが、北海道の協力が多少なりとも得られるならば、実施方向で努力するとの部長回答である。

④レフェリーコースについて

従来、前期は高校生の強化練習会をモデルに研修していたが、チーム数及びチーム力の関係で、長浜ドーム大会をモデルとすることが提案され、後期の審査は大学生のスピードとパワーのあるゲームを運営させて、うまくコントロールできる者にB級を認定する提案。承認。

⑤審判員の評価について

いま、参加審判員の最も多い全国高校総体と、最もレベルの高い全日本総合選手権の2大会で審判員の評価活動を行っているが、非常に機会が少ないため、多くの審判員と接し指導評価することが困難である。そ

こで、各大会の立会人メンバーの中に審査指導員を若干名採用してもらい、評価指導活動を発展させたいとの提案。承認。

しかしながら、今後の各連盟・各ブロックとの調整を進めなければならない。

⑥全国大会担当審判員ノミネートについて

平成14年度より、各都道府県№1審判員を全国大会にノミネートするシステムを執っているが、ブロック審判長より「この方法は、部長の考える都道府県内及びブロック内での競争より、甘えを生み出しているような現象があるので改革を」との提案があり、検討の結果、次のようにすることで決定。承認。

1、都道府県から順位をつけず1～5ペアをブロック部長に推薦する。

2、ブロック部長の責任において、ブロック内順位をつけ日本協会部長に推薦する。

3、各都道府県から1ペアは必ず全国大会にノミネートする。

⑦ステップ管理について

平成15年4月より実施した、IHFが示したステップの理論について、これまで国内において混乱が見られた。これまでに得た情報等から、理論としては理解するが、実際の技術として、パスであってもドリブルであっても空間でボールをキャッチした場合、着地の足を0歩と数えることにすると提案。承認。

常務理事会に提案し承認された時点で全国に通達を出す。

3.その他

①IHFより11月21日付で、競技規則及びその解釈に関する変更の通達について、その内容が岸本競技規則研究委員長より説明された。これを平成16年4月1日より適用する。各関係者へ早急に伝達する。

②視聴覚委員会より、研修用ビデオ内容の視聴と説明。

アテネオリンピック予選審判部報告

トップレフェリー研修会開催される

（財）日本ハンドボール協会常務理事
斎藤　実（審判担当）

オリンピック予選支援事業として、トップレフェリー研修会を、アテネオリンピック予選開催に併せて実施した。今講習会には、全国からトップレフェリー130余名と審判関係者、28日には指導者も参加しての盛大な講習会となった。

講習会は、この期間に開催されたIHF理事会に出席する、スタインバッハPRC委員長及び大会審判員として参加するSWEペア（オルソン・ハンソン）を講師として開催した。



スタインバッハIHF審判委員長



SWEペア（オルソン氏とハンソン氏）

期　日　平成15年9月27日（土）・28日（日）

会　場　西神オリエンタルホテル・神戸グリーンアリーナ

内　容
9／27
13：00　集合　指導部を含め約150名参加
　諸連絡の後会場移動
14：00　韓国VS中国（女子）観戦　レフェリー　IRIペア
16：00　日本VS中国（男子）観戦　レフェリー　SWEペア
　この2ペアレフェリーの競技運営を観察
9／28
9：00　SWEペア（オルソン・ハンソン）氏による講演
　テーマ「試合に臨むレフェリーとしての心掛け」
　質疑応答
11：00　審判部長講義
12：00　IHFスタインバッハPRC委員長講演
　テーマ　・ステップに関して
　　　　　・パッシブプレーに関して
　　　　　・段階的罰則に関して
　質疑応答

講師を依頼しておいたSWEペアに、前日27日のレフェリー担当となるよう依頼し、これが実現し、受講生としては昨日の試合を十分描ける状態での討論となったので、非常に有効的な時間が取れたと思う。また、スタインバッハ氏にはIHF理事会の日程をこなした後であったため、駆け足講義的になってしまったが、受講生にとってはIHF／PRC委員長の講義を直接聞くことができたことへの意義を感じていたようである。ただ、日本レフェリーの質問の中に日本人的特長が現れ、講師が細かいことにあまりこだわらず大局的に競技を運営することだと言っているのに、細かい質問をしている状態が見られた。大変有意義な研修会になった。

（研修会の詳しい内容については次号掲載）

日本ハンドボールリーグ プレーオフ迫る

3月20日・21日
東京・駒沢体育館



日本ハンドボールリーグ委員会 委員長 川上 憲太

月・日（曜）	開催地	会場	組み合わせ	TVKテレビ放映予定
3月19日(金)	東京	駒沢体育館	17：00～男子入れ替え戦 ※アラコ九州（1部7位）vs 北陸電力（2部1位）	
3月20日(土)	東京	駒沢体育館	12：30～男子入れ替え戦 アラコ九州（1部7位）vs 北陸電力（2部1位）	
			15：00～(1)女子・プレーオフ準決勝 （通算2位）vs（通算3位）	19：15～ 20：30
			17：00～(2)男子・プレーオフ準決勝 （通算2位）vs（通算3位）	20：30～ 21：50
3月21日(日)	東京	駒沢体育館	13：00～女子・プレーオフ決勝 （通算1位）vs (1)の勝者	19：55～ 21：20
			エキシビション（ドッジボール）	
			15：30～男子・プレーオフ決勝 （通算1位）vs (2)の勝者	21：30～ 23：00

※来期・第29回大会は男子1部7チーム、2部5チーム編成となるため、今期すでに1部8位が確定したHC東京は2部自動降格、入替戦は1部7位のアラコ九州と2部1位の北陸電力になります。

今シーズンも激闘を重ねてきました日本リーグレギュラーシーズンを終え、いよいよチャンピオンチームを決めるプレーオフを開催します。

東京・駒沢体育館で3月20日準決勝、21日決勝で最終フィナーレを飾るチームはどこか、日本のトップチームにより激しくさわやかな試合を期待したいと思います。

入場料金

券種	席	対象	料金
前売券	全席自由席	一般	1,700円
		大学生	1,000円
		中学・高校生	800円
		一般ペア	3,000円
		中高生（5名）	3,000円
当日券	全席自由席	一般	2,000円
		大学生	1,300円
		中学・高校生	1,000円

今シーズン、レギュラーシーズン途中で女子ナショナルチームの世界選手権出場や男子ナショナルチームのアジア選手権（兼世界選手権アジア予選）出場により日程、試合数が変更になり、ファンの皆様並びに関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

男子は実力伯仲、女子は王者・広島メイプルレッズをどこが倒すか、非常に興味深い大会となります。

ここで繰り広げられる試合には、日本のハンドボール界のトップチームによる最高のゲームの中で、技術・戦術・チームスピリット・フィジカル完成度・トータルマネジメント等が集約されています。ファンのみならず全国のハンドボールプレーヤーの今後の活動指針にもなるのではないでしょうか。

尚、今大会優勝チームは今年から開催されます第1回東アジアクラブ選手権大会の出場権が与えられます。本大会は混迷続く西アジア地区諸国に対抗し、東アジア地区各国の強調を目的に今年から企画された大会で、4

※小学生以下無料
※前売入場券は「チケットぴあ」（Pコード：805−382）で2月3日(火)より発売開始。

月14日～16日韓国ソウルで開催されます。是非ご注目下さい。

プレーオフは前回、マスコミ対策として男女の決勝日をずらしましたが、今回は大会の盛り上げを考え、男女同日決勝としました。観客の皆様にも集中した試合をご覧いただけると思います。尚、準決勝（2試合）・決勝（2試合）を例年通りテレビ神奈川にて中継する予定であります。またNHKをはじめ、同日のスポーツニュースにもご注目ください。

またこれも例年通り、海外よりレフェリーを招聘いたします。昨年9月のアテネオリンピックアジア地区予選に参加されたスウェーデンのレフェリーで、本場のレフェリングを指導又披露してくれる予定になっております。

激しい闘いの合間にほっと一息のエキジビションに昨年、一昨年（故高円宮殿下も参加）のフットサルに変わって他競技交流として、まさにハンドボールにつながるドッジボール競技を行いますので、お楽しみください。

さて、一昨年は高円宮殿下、昨年は長嶋茂雄氏、森前総理とビッグな来賓の方々にご来場いただきましたが、今年もたくさんの来賓をお招きして大会を盛り上げたいと思います。皆様どうぞ連れ添って会場へお越しください。たくさんのプレゼントを用意してお待ちしております。



昨年度のプレーオフより

JAPAN HANDBALL LEAGUE

ALL STAR GAME 2004

IN SYUUNAN YAMAGUCHI

ドリームチーム夢の競演、男女のオールスターが最高のパフォーマンスを！

★大会要項★

1.主　催：㈶日本ハンドボール協会　日本ハンドボールリーグ機構
2.主　管：日本ハンドボールリーグ委員会　山口県ハンドボール協会　徳山ハンドボール協会
3.特別協賛：ファーストリテイリング株式会社
4.後　援：山口県体育協会　徳山体育協会　周南市教育委員会　中国新聞
5.大会名：日本ハンドボールリーグ　オールスター戦
6.会　場：周南市総合スポーツセンター　メインアリーナ
所在地：山口県周南市遠石周南緑地公園
7.開催日程：3月28日（日）
10:00～　小中学生との交流会
13:00～　オールスター女子試合
15:00～　オールスター男子試合
16:40～　サイン会・ファン交流会

女子：東地区（北国銀行・シャトレーゼ・HC名古屋）
西地区（広島メイプルレッズ・オムロン・ソニーセミコンダクタ九州）
男子：東地区（大崎電気・HC東京・大同特殊鋼・トヨタ車体）
西地区（ホンダ・湧永製薬・アラコ九州・ホンダ熊本）

	チケット料金	
	前　売	当　日
一　般	1,500	2,000
中学・高校生	1,000	1,300

小学生以下は無料。
※チケット問い合わせ先
周南市総合スポーツセンター
TEL：0834-28-8311

※日本リーグのホームページに情報を掲載しています。（http://www.jhl.handball.jp/）

スコアールーム

第12回JOCジュニアオリンピックカップ2003ハンドボール大会

日　時：平成15年12月26日(金)、27日(土)：予選リーグ
28日(日)：決勝トーナメント
会　場：堺市家原大池体育館、堺市金岡公園体育館

【最終成績】

【男　子】
優　勝　沖縄県選抜（2年連続3回目）
準優勝　愛知県選抜
第3位　群馬県選抜、大阪府選抜

【女　子】
優　勝　熊本県選抜（10年ぶり2回目）
準優勝　沖縄県選抜
第3位　東京都選抜、堺　選抜

【表彰選手】

【男　子】
■オリンピック有望選手
ＣＰ　砂川　慶成　沖縄県（神森中）
■最優秀選手
ＧＫ　玉城　聖也　沖縄県（神森中）
■優秀選手
ＧＫ　寺脇　　将　愛知県（汐路中）
ＣＰ　前里　亮太　沖縄県（仲西中）
ＣＰ　久保　伸久　愛知県（汐路中）
ＣＰ　小口　智之　愛知県（御幸山中）
ＣＰ　小林　　健　岐阜県（中山中）
ＣＰ　連　　基徳　大阪府（大体大附中）
ＣＰ　斎藤　英樹　福島県（本宮第一中）

【女　子】
■オリンピック有望選手
ＣＰ　山上　麻美　山口県（住吉中）
ＣＰ　林　　志帆　愛知県（川名中）
■最優秀選手
ＧＫ　田中　千恵　熊本県（山鹿中）
■優秀選手
ＣＰ　渡辺　琴美　熊本県（住吉中）
ＣＰ　中池　　翠　熊本県（住吉中）
ＣＰ　坂田　小雪　熊本県（住吉中）
ＣＰ　上地　絵里　沖縄県（浦添中）
ＣＰ　座間味　由喜　沖縄県（浦添中）
ＣＰ　伊東　久美　東京都（平山中）
ＣＰ　岡本　真季　堺　　（上野芝中）

【試合結果】

【男　子】
■予選リーグ

山口県	27（9－9、18－16）25	岐阜県
群馬県	34（20－3、14－7）10	堺
大阪府	26（12－10、14－10）20	福島県
愛知県	27（14－7、13－7）14	宮崎県
沖縄県	34（18－12、16－13）25	京都府
山形県	32（17－10、15－14）24	北海道
富山県	37（18－8、19－8）16	岡山県
埼玉県	35（18－8、17－7）15	愛媛県
沖縄県	26（12－3、14－9）12	岐阜県
山形県	24（12－6、12－16）22	堺
大阪府	29（14－7、15－13）20	富山県
愛知県	35（20－2、15－4）6	愛媛県
沖縄県	29（14－10、15－13）23	山口県
群馬県	30（15－9、15－13）22	山形県
富山県	29（13－10、16－11）21	福島県
宮崎県	16（7－5、9－9）14	愛媛県
京都府	30（13－10、17－10）20	山口県
群馬県	33（14－13、19－7）20	北海道
福島県	34（13－17、21－10）27	岡山県
埼玉県	27（13－8、14－8）16	宮崎県
京都府	26（12－12、14－12）24	岐阜県
北海道	20（10－7、10－12）19	堺
大阪府	37（17－9、20－6）15	岡山県
愛知県	26（12－2、14－8）10	埼玉県

■準決勝

沖縄県	29（20－7、9－12）19	群馬県
愛知県	22（13－4、9－12）16	大阪府

■決勝戦

沖縄県	22（11－11、11－10）21	愛知県

【女　子】
■予選ブロック

岐阜県	25（15－6、10－6）12	岩手県
富山県	34（11－4、23－4）8	愛媛県
東京都	43（25－5、18－7）12	北海道
愛知県	28（17－6、11－10）16	石川県
堺	21（11－10、10－11）21	茨城県
沖縄県	20（11－8、9－9）17	兵庫県
山口県	23（9－9、14－8）17	京都府
熊本県	28（15－1、13－4）5	香川県
堺	29（15－3、14－7）10	岐阜県
富山県	33（19－11、14－12）23	兵庫県
東京都	28（12－9、16－11）20	京都府
熊本県	20（10－8、10－10）18	愛知県
堺	34（18－5、16－3）8	岩手県
兵庫県	26（12－4、14－6）10	愛媛県
京都府	38（21－7、17－4）11	北海道
熊本県	19（7－8、12－5）13	石川県
茨城県	18（11－4、7－10）14	岩手県
沖縄県	34（17－3、17－6）9	愛媛県
山口県	40（21－4、19－4）8	北海道
石川県	23（12－7、11－7）14	香川県
茨城県	17（10－11、7－6）17	岐阜県
沖縄県	30（13－14、17－12）26	富山県
東京都	30（18－15、12－11）26	山口県
愛知県	36（18－6、18－6）12	香川県

■準決勝

沖縄県	21（10－4、11－11）15	堺
熊本県	23（13－14、10－7）21	東京都

■決勝戦

熊本県	21（11－5、10－13）18	沖縄県



平成15年度12月常務理事会

日　時：平成15年12月21日(日)
場　所：広島県　東区スポーツセンター会議室
出席者：渡邊会長、山下副会長、市原副会長、大西専務理事、常務理事8名、監事2名、参事2名、事務局1名

世界女子選手権大会を最後とするアテネプロジェクトの総括をし、早急な北京オリンピックへ向けての対応を示唆する渡邊会長の挨拶のあと、大西専務理事により議事を進行する。

審議事項

1. 平成15年度財務計画（年度末までの資金繰り予定）について
・財政難であるが現時点では赤字とならない予定である。
・日本リーグ法人化への積立金の計画を検討する。

2－1. 平成16年度事業計画（案）
1）普及・指導に関する事業
・U16クラブ大会の充実・小学校研究指定校継続・中体連との連携強化・J級指導員講習会の継続充実・大学におけるC級コーチ認定コースの設置の検討・NTSとの連携
2）競技運営に関する事業
・開催大会の管理運営・大会の開催運営マニュアルの作成・競技運営部の全国展開・年齢別大会の充実
3）国際に関する事業
・東アジア連盟の発展支援・国際交流体制の構築関連：カザフスタン世界選手権辞退に関連し、国際ルールの確認をする必要
4）競技規則（審判）に関する事業
・IHF通達の国内への伝達の正確性、迅速性・審判員の評価活動
5）競技力向上
・北京オリンピックプロジェクトの立ち上げ・代表チーム支援方法
6）機関誌発行に関する事業
・機関誌とインターネット化（経費節減と広範な情報伝達充実）
7）企画・広報に関する事業
・北京オリンピックへ向けての具体策の集約・インターネットの充実
＊時代に合わせた企画は重要であり、機関誌と広報の統一化を含め、組織替えを検討していく必要があり、今後提案していく。
＊各都道府県にホームページ立ち上げの義務化を検討。
8）財務・会計に関する事業
・収入財源内での支出予算の抜本的見直し
・収入源の確保。各部の連携による支出削減を考えていく必要がある。
9）日本リーグに関する事業
・北京体制に対する支援体制を確立する・東アジアリーグの開催
10）総務に関する事業
・事務局の多機能化
11）がんばれハンドボール10万人会・サポート会員に関する事業
・サポート会の拡大推進

＊マーケティング、NTSについても事業計画に加える必要がある。
＊国は団体へ自立を求めており補助金は減っていき、チェック体制も厳しくなるので、内部チェックを十分していく必要がある。自己財源の確保について、各役員はマーケティングに努力する必要がある。
＊来年度toto助成金配当範囲が限られてくる。

2－2. 平成16年度事業予算（案）
・資料は現状を理解戴くため、各担当より提出された金額をそのまま計上してあるが、今後調整していく。

3. 平成16年度toto申請の件
・NTS申請をおこなう。
・組織基盤強化事業も継続されたい。
・大会、日本リーグサマーキャンプ、チームが開催する講習会などにNTS講習会をタイアップさせることで、経費軽減をしていくことが可能であるので、詳細を含めて今後補正もありうる。
＊競技者育成、審判講習会、指導者育成が従来バラバラに行われていることを、大会などとも関連させるなどして集約して行うことで経費削減は十分可能であり、今後トータルとして企画をしていく必要がある。取り纏めは競技者育成委員会や基盤整備強化担当者が行う。

4. プラクティスシャツ販売の件
・今年度で販売事業に一応の目途をつける。
・今後の販売方法としてさらに検討する。

5. 男子代表チーム監督の件
・田口監督継続を申し出たが、会社として会社業務に専念させたい旨の回答があり、次期候補者を決定する必要が出た。強化委員会として松井監督、玉村コーチ体制を提案。
・女子代表チーム監督の件：西窪体制継続ではあるが、スタッフなどについては継続審議とする。

6. 世界選手権大会の件
・IHFより大会開催紹介が来ているが、今回は資金的なこともあり静観する。

7. 10万人会サポート会
・大会会場での会員優先席（フロア席）を設けるなど特典を設定していく。アテネ予選では好評であった。
・会員更新方法を複数年など検討する。
・登録業務を事務局スタッフが行うことで費用を軽減し、増員できる局員に10万人会業務も出来る可能性を検討。
・グランド会員を増やして行く工夫をしていく。
・北京100人会を企画、検討する。

8. その他
・東京美装興業㈱八木社長が協力出来るとの申し出があり、マーケティング委員で対応する。
・事務局員6名に一時金を出す事で了承。
・VISA申請でJHAを語る虚偽申請があり、日本大使館がこれを事例として使用することを申し出てきたので承認。
・IHF臨時総会について
・日本提案は次回総会に持ち越された。
・日本リーグにトップレフェリー招聘する予定。
・中国との交流を推進する方向性を確認。
・西山ドクターがアテネオリンピックドーピングドクターとして指名される。
・女子ビーチ選手権アジア予選の日本開催について、国内で検討してから回答する。
・東アジアとヨーロッパとの交流（審判やセミナー）を希望。

報告事項

1. 各事業部報告
・ホンダ保管のタラフレックスは、富士大学（岩手県）で保管。
・規定集について
・協会寄付行為の常務理事人数について
・宮崎（日体大）選手の移籍について
・協会費用（奨学金）で留学などした選手の規定（ルール）を整備しておく必要性。
・1月期常務理事会は、1月17日(土)に変更する。

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」1月入会・継続会員

■1月会員

【茨城】草間　孝子【埼玉】木本　良一【千葉】泉水　孝浩、泉水　庸子、泉水　勇人、泉水　昭、泉水　よね【東京】西岡　雅樹【神奈川】中丸　英一【長野】青木　崇【愛知】横地　成典、西村　香代子、蒲生　美、蒲生　庄吾、川島　祥子、山内　亜久里【三重】川岸　光男、小川　信【京都】石井　惇史【大阪】長嶺　利昭、平田　光徳【広島】木下　しのぶ【愛媛】正岡　勝英【熊本】津田　修

【3月の行事予定】

【会議】

3月13日（土）：常務理事会：東京・日本青年館

【大会】

3月20日（土）～21日（日）：
第28回日本リーグプレーオフ：東京・駒沢

3月27日（土）～28日（日）：
日本リーグオールスター戦：山口県周南市

3月26日（金）～31日（水）：
第27回全国高校選抜大会：神奈川県

HAND BALL CONTENTS Mar

（登録チームの購読料は登録料に含む）

2003コートの主役



PKCH3-AD　　¥4,600

検定球3号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・男子用
天然皮革

PKCH2-AD　　¥4,500

検定球2号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・女子用・中学校用
天然皮革



MIKASA®

http://www.mikasasports.co.jp

(財)日本ハンドボール協会編 『ハンドボール』 第四四八号

昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可

平成十六年二月二十六日印刷 平成十六年三月一日発行

東京都渋谷区神南一―一―一
電話 代表 三四八一―二三六一
振[illegible] 〇〇一二〇―七―一〇二九三

編集兼発行人 大西武三

定価 年間三三〇〇円